

# 三重大学生生活協同組合

## 2022年度 (第69回) 通常総代会議案書

日時 2022年5月27日(金) 18:15～19:00

場所 三重大学生協 第1食堂

### 議決事項

第1号議案	2021年度活動報告および事業報告書・決算関係書類承認の件	P.1
第2号議案	2022年度活動方針および事業計画・予算決定の件	P.37
第3号議案	2022-2024中期計画策定の件	P.43
第4号議案	定款一部改正の件	P.47
第5号議案	日本コープ共済生活協同組合連合会への加入の件	P.49
第6号議案	役員報酬決定の件	P.49
第7号議案	議案決議効力発生の件	P.50
	役員選挙の件（理事25名・監事4名）	P.50



三重大学生生活協同組合

[www.univcoop-tokai.jp/mucoop/](http://www.univcoop-tokai.jp/mucoop/)

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577番地 三重大学内

TEL 059-231-1103 / FAX 059-231-3852



# 第 1 号議案

## 2021 年度活動報告および事業報告書・決算関係書類承認の件

### I. 活動報告

#### 理事会・監事会の開催状況

##### ◆ 理事会開催状況

※ 定例議題は以下のとおりです。

- 活動日誌、生協学生委員会活動報告、環境 ISO 学生委員会報告、応援団報告、ピアサポーター学生委員会報告、ACS 学生委員会報告、生協パソコン講習会「iMUPS」報告
- 事業活動報告、大学・社会との連携活動報告、ひとこえカード活動報告、総代ミーティング報告、共済活動報告(今月の事故・病気)、学生生活 110 番報告、環境活動の推進
- 前回理事会の議事録

※ 以下の各回の議題のうち、継続審議の場合は初月のみ記載しているものがあります。

- |       |                  |   |
|-------|------------------|---|
| 第 1 回 | 2021 年 5 月 27 日  | 理事長、専務理事の互選、代表理事の選定                                       |
| 第 2 回 | 2021 年 6 月 17 日  | 理事辞任の件、大学における教育と ICT 活用に関する実態調査結果について                     |
| 第 3 回 | 2021 年 7 月 28 日  | 第 1 食堂改築計画について、大学生協「再生討議」について                             |
| 第 4 回 | 2021 年 10 月 20 日 | 大学生協連・共済連の総会代議員選出について、個人情報保護方針・規則改定について、事業連合新経営再建計画案について、 |
| 第 5 回 | 2021 年 12 月 16 日 | 事業連合就業規則同一化に伴う就業規則改定について                                  |
| 第 6 回 | 2022 年 1 月 20 日  | 2022 年度基調方針と予算、生協役員賠償責任保険の加入について、全国大学生協連 臨時全国総会代議員選出について  |
| 第 7 回 | 2022 年 2 月 16 日  | (理事出席不足のため、報告・協議のみ実施)<br>2022 年度基調方針と予算、総代会の開催について        |
| 第 8 回 | 2022 年 4 月 20 日  | 2022 年度通常総代会の開催について、2022 年度方針・予算について、三重県生協連総会の代議員選出について   |
| 第 9 回 | 2022 年 5 月 18 日  | 2022 年度通常総代会について(予定)                                      |

##### ◆ 監事会開催状況

- |       |                 |                                |
|-------|-----------------|--------------------------------|
| 第 1 回 | 2022 年 4 月 25 日 | 会計監査、業務監査、総代会での監査報告、次期監事推薦(予定) |
|-------|-----------------|--------------------------------|

## 1. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響

- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大によって、旅行や外食産業などに大きな影響が出ています。その一方で、ステイホーム期間中の巣ごもり需要は拡大し、消費動向は以前より大きく変化しています。
- ▶ 学生生活実態調査によると、コロナ禍でアルバイトができず収入が減少していること、また三密を避けるための対策として、ハイブリッド講義が全面的に実施されたことで、大学内のコミ

ュニティが大きく弱体化しています。学生は大学に登校する機会が大幅に減り、特に2020年入学の3年生は「友達が作れない」など大学生生活の充実に不可欠な人と人とのつながりが弱まっています。

- ▶ 生協の事業経営においても、登校者の大幅な減少により食堂や購買の利用が激減しています。大幅な赤字とならないよう、事業経費の削減を進め、持ちこたえている状態です。

## 2. 店舗の活動、生協経営について (2021年3月～2022年2月)

(単位:万円)	昨年実績	予算(目標)	本年実績	昨年増減率	予算増減率
供給高	90,383	101,723	99,919	10.6%	-1.8%
利用者数(万人)	23	-	23	0.0%	-
事業総剰余金	22,773	25,732	26,023	14.3%	1.1%
人件費	16,136	15,729	14,915	-7.6%	-5.2%
物件費	11,391	12,127	10,132	-11.1%	-16.5%
事業剰余金	-4,754	-2,131	975	-120.5%	-145.8%
事業外収支	3,598	-71	450	-87.5%	-733.8%
特別収支	1,466	190	322	-78.0%	69.5%
当期剰余金	280	-1,941	1,717	513.2%	-188.5%

- ▶ 総供給高... 約9.9億円の利用でした。
  - ・ コロナ禍2年目に入り、ウィズコロナの対応が進み、ハイブリッド講義形式での開講となりました。2020年度と比較して大学に学生が戻り始めました。
  - ・ 日常的な食品・食堂分類のご利用が回復してきました。
- ▶ 利用者数... 前述のハイブリッド講義となり前年度より回復してきた。しかしコロナ禍以前と比較するとおよそ40%の回復であり、まだまだ厳しい利用状況でした。
- ▶ 事業総剰余(商品、メニュー、サービスの提供による剰余)... 供給高の回復により、事業総剰余も増加となりました。
- ▶ 人件費... 営業規模の縮小が継続しており、職員の稼働も例年の55%程度まで削減しています。人件費の総額は前年比▲7.5%となってい

ます。

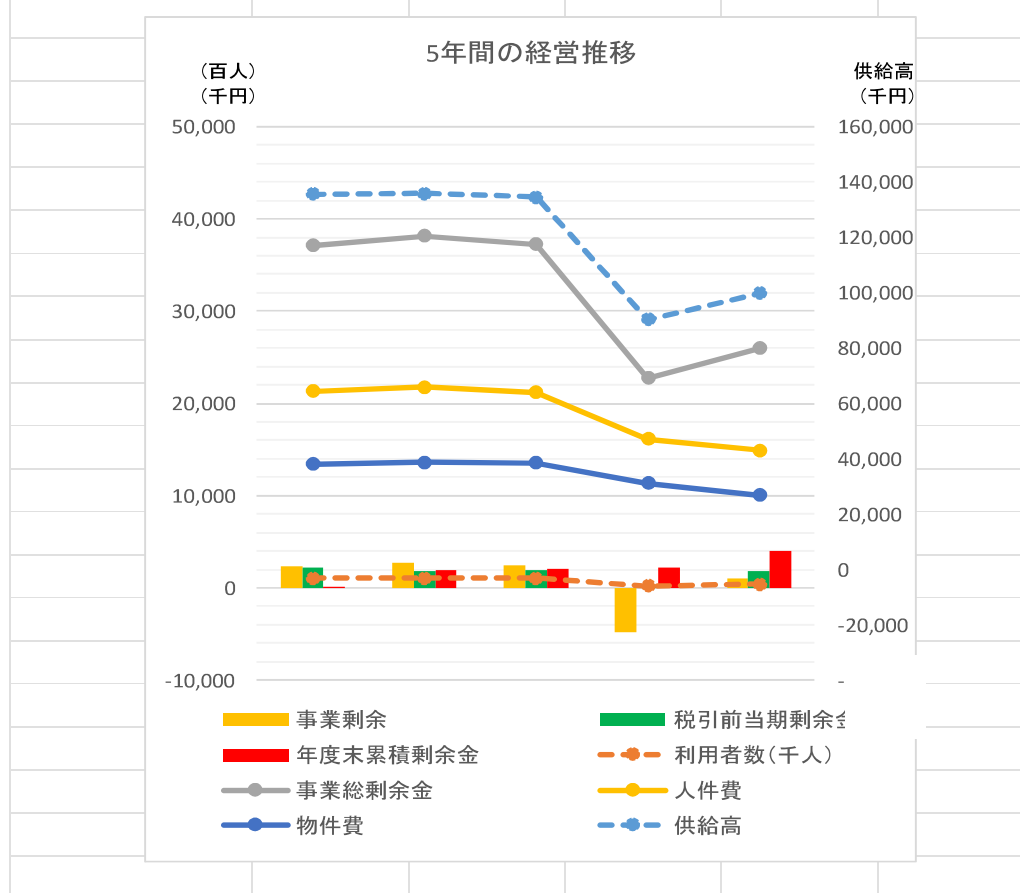
- ▶ 物件費... 営業規模の縮小にともない物件費も削減しています。
  - ・ 車両運搬費が前年差▲512万円。教科書販売の宅配から店頭販売へ戻り始めたため、配送コストが減少しました。
  - ・ 施設維持管理費が前年差+63万円、水道光熱費が前年差▲21万円となりました。営業規模縮小にともない水光熱費が減少しました。また備品類の故障・修繕頻度は営業回復に伴いやや増加しました。
  - ・ 研修採用費、会議費はほぼ前年並み前年となりました。今年度も会議・研修の開催形態がオンラインとなり、移動に要する交通費が大きく減少しました。
  - ・ 事業連合委託費が減額され前年差▲599万円となりました。

▶税引前当期剰余金(事業剰余金から事業外の収支を加味した剰余)は1,747万円で、黒字決算となりました。当初年度予算では▲1,941万円の赤字予算でした。前年度と比較して利用が回復してきたことと、利用実態に合わせた経

費コントロールにより黒字決算となりました。

▶ 営業規模縮小にともなう稼働の削減により、労働生産性(換算職員1人当たりの事業剰余金) ... 実績 56.4万円(昨年 53.2万円、+6.2%)となり、前年より向上しています。

(万円)	17年実績	18年実績	19年実績	20年実績	21年実績
供給高	135,715	135,981	134,593	90,383	99,919
利用者数(千人)	1,071	1,076	1,052	231	416
事業総剰余金	37,167	38,183	37,247	22,773	26,023
人件費	21,321	21,783	21,230	16,136	14,915
物件費	13,456	13,632	13,600	11,391	10,085
事業剰余	2,391	2,768	2,417	-4,754	1,023
税引前当期剰余金	2,176	1,882	2,003	310	1,795
年度末累積剰余金	59	1,887	2,135	2,215	3,980



## 2021 年度の利用や取り組みは次の通りです。

**住まいの斡旋** 年間 374 件、昨年 408 件でした。コロナウイルスの影響を受け、斡旋件数は若干減少しました。

**アルバイト紹介** 年間求人は、一般 60 件(昨年 0 件)、家庭教師 5 件(昨年 0 件)でした。採用報告は 27 件

(昨年 0 件)でした。コロナウイルスの影響を受け、求人・応募ともゼロの状態となりました。

**教材、パソコン等** 新入生用の生協推奨パソコンは 756 人、「パソコン安心サポートサービス」は 656 人と、たくさんの新入生にご利用いただきましたが、計画数

には届きませんでした。

**パソコン活用講座** 389人(昨年 407人)が受講しました。当初予定していた対面での開催を中止し、WEB上で講座動画の配信を行いました。

**公務員講座** 前年はオンラインを主に実施してきました。今年度はハイブリッドでの開講となりました。216人の方に受講いただきました(昨年 152人)。

**校費利用** 2021年度は 2.33億円の利用がありました(生協供給計上処理分)。昨年 2.12億円(同)から、9.9%増加しました。

**学生証、職員証の発行** 大学より、継続して発行業務を受託しました。

**CP プリペイド(生協マネー「MyicaPay(マイカペイ)」)** ハイブリッド講義となり前年度と比べ来学の機会が増えました。生協の利用機会も増加したため、プリペイドの年間利用は、1億 5,535万円となり昨年(6,117万円)から大きく増加しました。

**学生総合共済** 加入を推進しました。学生委員、役職員の総力で取り組み、組合員への理解を広げました。組合員対比約 73%の方に加入いただきました。12月には学生委員会が自転車点検を行いました。

**生協学生委員会の「店舗活動」** コロナウイルスによる学生の来学規制緩和により、来学者が増えました。学生委員会による店内装飾や抽選企画など、規模は小さくなりましたが、店舗活動を行うことができました。

**「新入生歓迎」・「新生活準備サポート」活動** 友達づくりをはじめとする、新入生の様々な新生活準備サポート活動は、対面での開催中止を余儀なくされました。2021年4月の新入生に対しては、全面的にオンラインで提案・活動を行ってきました。

**国内・海外旅行** コロナウイルスの影響を受け、旅行部門のご利用は国内・海外ともにほとんどゼロの状態になりました。

**自動車学校** 普通免許 734人(昨年 717人)と増加しました。

**教科書購入** 前期・後期をあわせて約 8,900件、8,600万円のご利用がありました。キャンパスへの登校が緩和される中、前年と異なり対面販売と宅配方式併用での販売を行ってきました。教科書販売に要する発送実務・配送コストなどが前年度より減少しました。

**翠陵店** 翠陵店・第2購買書籍店とも、年間を通じて時間短縮営業を行ってきました。年間供給は 7.03億円で、前年(6.69億円)から大きく増加しました。大学の校費利用が好調だった一方で、日々の食品利用や旅行サービス部門の減少が大きく影響しています。

**第2購買書籍店** 年間供給は 2.29億円で、前年(1.98億円)から大きく増加しました。情報機器中心に校費利用が伸長しました。

**第1食堂 第2食堂・ぱせおとも**、年間を通じて時間短縮営業を行ってきました。また、座席の間引きや卓上衝立の設置など、諸々の感染予防対策を行ってきました。前年度は営業休止期間もあり大きく後退しましたが、今年度は営業規模縮小ながら、年間通じて営業を行うことができました。

年間供給 2,812万円で、前年(801万円)から大きく増加しました。学生の来学の機会も4割ほど回復し、昼食のみの営業でしたが利用アップしました。

**第2食堂** 年間供給は 2,946万円で、前年(2,084万円)から大きく増加しました。実習や実験・研究などで来学する医学部生・工学部生の利用が戻ってきており利用増となりました。

**ぱせお** 年間供給は 933万円で、前年(863万円)から大きく増加しました。学内に滞在する教職員のご利用がコンスタントにあったため、第1食堂・第2食堂に比べると減少幅は小さく留まっています。



## Ⅱ. 2021年度事業報告書

2021年3月1日から2022年2月28日まで

三重県津市栗真町屋町1577番地  
三重大学生活協同組合  
理事長 坂本 竜彦

### I. 組合の事業活動の概況に関する事項

#### 1 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目	主な事業品目等
供給及び	物品供給 書籍、文具、教育機器、衣料品、電気製品、家具、 その他組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業。
利用事業	サービス提供 国内・海外旅行等の旅行業務を取り扱う事業、アパート・下宿の斡旋 および管理する事業、その他日常生活に必要なサービスを提供する事業。 組合員に食事を提供する事業。
その他	組合員のための生命共済、火災共済の業務受託事業。

#### 2 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

##### 1 事業の経過及びその成果

###### (1) 事業方針

1. Withコロナにおける変化を敏感に捉え、事業を構築します
2. 生協加入をはじめ「仲間づくり」の取り組みをすすめます。
3. 学生・院生のキャリア支援、就職支援をすすめます。
4. MyicaPay(マイカペイ)・食堂パスのご利用により、生協の利便性を高めます。
5. 健康で安全に過ごすための提案と、たすけあいの共済活動をすすめます。
6. 環境を守り、資源の循環を促進する活動をすすめます。
7. 社会を考え合う取り組みをすすめます。
8. 自然災害、防災について考え、行動します。
9. 学内教職員のニーズに積極的に応えていきます
10. 大学全体の取り組みに協力し、貢献します。
11. 理事会の執行力を強め、要望を実現し、経営の改善をすすめていきます。
12. 県内、全国の協同組合と連帯して、活動をすすめます。

###### (2) 経済および事業環境

2020年1月から始まったコロナ禍の影響で厳しい事業環境となっています。  
2021年度もハイブリッド講義となりました。6月7日から県外通学者(緊急事態宣言地域)の大学登校が可能となりました。県外通学者(緊急事態宣言地域)の大学登校が緩和されて以降、大学への登校人数がやや増加しました。しかしながらハイブリッド講義のため、学籍番号偶数奇数により登校日が制限。  
2019年度比でおよそ4割の登校。食堂や購買での食事、食品利用が厳しい環境が続きました。

###### (3) 事業の状況

コロナ禍によるハイブリッド講義のため利用人数は2019年度比およそ4割るにとどまりました。食堂や購買での食品事業は厳しい結果となりました。一方、非来店での利用可能なサービスについては利用回復しました(自動車学校、教科書、新学期教材、公務員講座、)

大学からの校費利用は伸長しました。

食堂事業は第1食堂の朝食夕食営業を中止し、昼食のみ短縮営業、第2食堂、ばせおについても営業時間短縮し運営コストをコントロールし営業継続しました。利用実態に合わせた運営体制コントロールにより3店舗とも黒字決算となりました。

新学期利用はコロナ禍によりサポートセンターへの来場が大きく減少しました。対面での説明会ができず、加入や新学期教材利用が前年よりやや後退しました。

###### (4) 業績

1) 組合員数および出資金	8,770 人	201,389,000 円
2) 供給事業		999,193,121 円
3) その他の事業		該当なし
3) 事業経費		250,479,134 円
4) 事業外損益		4,500,354 円
5) 特別損益		3,224,000 円
6) 当期剰余金		17,174,111 円

#### 2 対処すべき重要な課題

##### (1) 事業の展望と課題

- ・コロナ禍による事業の後退に対する、利用回復、経営再建3年計画の策定。
  - ・生協と組合員、大学とのつながりを強化していきます。オンラインでのつながりからリアルでのつながりを再構築していきます。コロナ禍に入ってからできなくなった、対面での組合員が交流できる取り組みを実践します。組合員組織、総代、生協学生委員会、関係団体とのコミュニケーションを強固なものにしていきます。
  - ・来春完成予定の第1食堂改築を成功させます。生協組合員センター移転も行われますので、業務に切れ目が生じないようスムーズな移転を行います。
- 今年度スタートする、新業務システム(NR-G)へのスムーズな移行を行うことにより、業務効率化を図ります。

### (1) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位:円)

項目	18年度	19年度	20年度	本年度
組合員数	9,228	9,188	8,963	8,770
出資金額	227,302,000	220,570,000	211,108,500	201,389,000
供給高	1,359,811,669	1,345,934,475	903,827,273	999,193,121
その他事業収入	77,719,673	77,489,163	68,558,202	72,154,124
経常剰余金	28,453,217	26,418,488	△ 11,556,998	14,253,111
総資産	649,156,850	625,658,088	605,545,579	604,115,007
純資産	250,169,525	262,924,099	256,260,250	263,714,861

### (2) 供給事業の状況表

#### 1) 部門別・業態別供給高の状況

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:円)

(単位:円)

供給分類項目	18年度	19年度	20年度	本年度
[部門別供給高]				
文具	48,312	44,521	33,482,056	34,652,190
情報機器	243,359	255,024	311,453,627	292,570,777
PCソフト	12,793	14,927	18,227,646	25,767,210
衣料・スポーツ	17,588	6,027	3,683,142	4,730,213
AV・家電・家具	10,532	7,868	5,889,024	5,802,162
日用雑貨	2,716	2,905	3,248,090	4,441,886
食品・菓子	25,136	22,874	7,753,278	11,897,565
パン・米飯	67,368	68,090	24,028,410	41,940,969
飲料・デザート	46,622	44,376	12,033,740	22,026,261
自販機	13,800	14,451	0	0
コピー	876	769	183,449	331,485
写真・印刷	27,530	30,731	15,716,920	17,119,988
官製品	2,497	3,195	5,635,765	3,848,514
インターネット・通信	0	0	6,027,422	1,816,273
物販その他(内外)	5,157	3,761	3,022,669	981,270
物販その他(非非)	2,196	2,961	3,058,700	2,445,440
プリペイドC	2,639	2,455	753,395	2,085,059
酒・医薬品等	0	165	52,973	98,011
物販その他(内外)軽減	0	758	1,087,747	714,278
購買分類計	529,122	525,859	455,338,053	473,269,551
自動車教習所	229,674	240,164	200,423,965	206,297,032
海外旅行	58,965	59,482	△ 7,664,194	0
国内旅行	45,598	41,943	2,674,791	2,454,385
SVその他(内外)	805	4,897	△ 31,700	26,213,537
SVその他(内内)	5,674	5,669	1,320,880	1,462,223
サービス分類計	340,715	352,155	196,723,742	236,427,177
電子書籍	2,377	3,227	3,507,838	3,704,652
人文・教育・心理	5,543	4,809	2,705,299	3,594,935
法律	934	939	206,050	427,350
経済・経営	722	714	571,304	780,316
理学	3,321	2,613	1,376,101	1,975,210
工学	1,582	1,499	617,906	1,038,505
医薬	36,779	29,806	28,226,868	24,713,105
文芸・一般	1,828	1,510	886,866	832,524
文庫・新書	4,728	4,160	1,624,861	2,533,179



雑誌	6,656	6,412	3,849,742	3,807,324
辞書・語参	6,139	4,071	1,329,083	1,717,745
洋書	245	594	204,447	155,314
音楽ソフト	15	16	12,600	6,000
教科書	77,338	70,573	79,496,197	79,310,032
研究者売掛	26,934	23,221	25,072,967	26,214,989
売掛	5,031	4,081	3,430,219	3,391,995
書籍雑誌その他	1,010	1,003	139,430	1,146,971
図書カード	3,112	3,021	893,000	1,045,500
SG(内内)	16,879	15,955	4,528,664	4,321,227
自主講座・就活(内内)	55,035	52,338	51,820,413	55,533,314
書籍分類計	256,211	230,563	210,499,855	216,250,187
メニュー	233,844	237,355	41,261,707	73,251,724
食堂分類計	233,844	237,355	41,261,707	73,251,724
現金過不足	△ 79	2	3,916	△ 5,518
供給高合計	1,359,812	1,345,934	903,827,273	999,193,121
[業態別供給高]				
店舗	1,359,812	1,345,934	903,827,273	999,193,121
合計	1,359,812	1,345,934	903,827,273	999,193,121
供給値引き	△ 18,790	-16,633	△ 14,953,246	△ 15,137,981

## 2) 供給高の事業所別内訳

店舗の名称	(単位:千円)	(単位:千円)	(単位:円)	(単位:円)
	18年度	19年度	20年度	本年度
翠陵書籍店	934,406	917,740	668,696,613	703,377,039
第2購買書籍店	204,746	204,675	197,661,506	228,896,764
住まいの幹旋	0	0	△ 2,693	△ 54
第1食堂	124,691	124,266	8,004,729	28,121,378
第2食堂	73,605	77,092	20,834,719	29,464,947
パセオ	22,364	22,161	8,632,399	9,333,047
合計	1,359,812	1,345,934	903,827,273	999,193,121

## (3) 受託共済事業状況表

### 1) 加入者数の状況

元受団体名	共済事業の種類	契約型	契約件数		
			前年度	当年度	前年比
生命共済	全国大学生協共済連	A型	1,381	754	-45.4%
		B型	3,644	4,195	15.1%
		U型	1	1	-
		小計	5,026	4,950	-1.5%
火災共済	全国大学生協共済連	KW型	1,288	690	-46.4%
		小計	1,288	690	-46.4%
合計			6,314	5,640	-10.7%

### 2) 元受団体共済掛金及び共済金支払の状況

元受団体名	共済事業の種類	元受団体共済掛金		
		前年度	当年度	前年比
生命共済	全国大学生協共済連	69,178,780	68,552,910	-0.9%
火災共済	全国大学生協共済連	2,607,170	1,391,650	-46.6%
合計		71,785,950	69,944,560	-2.6%

元受団体名	共済事業の種類	共済金支払件数		
		前年度	当年度	前年比
生命共済	全国大学生協共済連	189	220	16.4%
火災共済	全国大学生協共済連	3	2	-33.3%
合計		192	222	15.6%

(単位:円)

共済事業の種類		共済金支払金額		
	元受団体名	前年度	当年度	前年比
生命共済	全国大学生協共済連	32,896,000	22,012,000	-33.1%
火災共済	全国大学生協共済連	207,670	509,250	145.2%
合計		33,103,670	22,521,250	-32.0%

## 3 当該事業年度における重要な事項

## (1) 増資および資金の借入その他の資金調達状況

資金調達内訳表 (単位:円)

調達方法	金額
出資金	201,389,000

## (2) 組合が所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況

設備投資概況表

施設・設備名	所在地	摘要
第1食堂・組合員センター	三重県津市栗真町屋町1577番地	
第2食堂・第2購買書籍店	三重県津市栗真町屋町1577番地	
翠陵店・パセオ	三重県津市栗真町屋町1577番地	

## 4 他の法人との業務上の提携

業務提携先	所在地	提携内容
生活協同組合連合会 大学生協事業連合	東京都杉並区和田3丁目30番22号	業務委託

5 他の会社を子法人等および関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式または持分の取得  
該当事項はありません。

## 6 事業の全部の譲渡又は一部の譲渡又は譲受、合併その他の組織の再編成

該当事項はありません。

## 7 教育事業等の状況

項目		金額
当期に繰り越された教育事業等繰越金		140,000
教育事業等の使途		
項目		金額
教育文化費	機関紙等発行、新入生歓迎企画、生協案内、文化企画	19,919
広報費	生協加入案内、店舗商品利用案内、店舗企画	6,459,499
研修採用費	セミナー参加費	331,117
合計		6,810,535

## II. 組合の運営組織の状況に関する事項

## 1 前事業年度における総会の開催状況

総会開催日		2021年5月28日
総会日現在総代数		132名
出席代議員数	本人	2名
	代理人(委任)	0名
	書面	96名
	計	98名
(重要な議事、議決事項及び議決状況)		議決状況
第1号議案	2020年度活動報告および事業報告書・決算関係書類承認の件	過半数の賛成により可決
第2号議案	2021年度活動方針および事業計画・予算決定の件	過半数の賛成により可決
第3号議案	定款一部改正の件	3分の2以上の賛成により可決
第4号議案	役員報酬決定の件	過半数の賛成により可決
第5号議案	議案決議効力発生の件	過半数の賛成により可決
	役員選挙の件	全員信任

## 2 組合員に関する事項

### 組合員出資金等増減表

(単位:円)

区分	人員	口数	組合員出資金総	一人当組合員出
期首現在	8,963	422,217	211,108,500	23,553
当期増加分	1,444	68,265	34,132,500	23,637
当期減少分	1,637	87,704	43,852,000	26,788
期末現在	8,770	402,778	201,389,000	22,963

## 3 役員に関する事項

### (1) 役員一覧表

役名	氏名	就任年月日	略歴等
理事長(代表理事)	坂本 竜彦	2021年5月28日	生物資源学部教授(共生環境学専攻 地球システム学 地球システム進化学)
専務理事(代表理事)	村田 哲	2021年5月28日	員外
理事	青木 雅生	2021年5月28日	人文学部教授(法律経済学科 現代経済研
理事	玉城 政和	2021年5月28日	教育学部教授(数学教育)
理事	竹内 佐智恵	2021年5月28日	医学部教授(看護学専攻 実践看護学領域成人看護学)
理事	金子 聡	2021年5月28日	工学部教授(分子素材工学専攻 生物機能工学 分析環境化学)
理事	八神 寿徳	2021年5月28日	地域イノベーション学研究科准教授(地域イノベーション学専攻 地域新創造ユニット・工
理事	松岡 知津子	2021年5月28日	国際交流センター准教授(グローバル人材教育開発部門・国際交流センター)
理事	鶴原 清志	2021年5月28日	大学理事(教育担当)・副学長
理事	片倉 有里	2021年5月28日	人文学部学生 2年・ピアサポーター学生委員会・ACS学生委員会
理事	力野 フェルナンダ	2021年5月28日	人文学部学生 3年・体育会 応援団
理事	石浜 瑚野	2021年5月28日	人文学部学生 3年・生協学生委員会
理事	井澤 花梨	2021年5月28日	人文学部学生 3年・体育会 応援団
理事	岡野 亜美	2021年5月28日	人文学部学生 3年・生協学生委員会
理事	久米 将弥	2021年5月28日	人文学部学生 3年・生協学生委員会
理事	松野 莉奈	2021年5月28日	人文学部学生 3年・生協学生委員会
理事	吉野 未波	2021年5月28日	人文学部学生 3年・生協学生委員会
理事	太田 味佑	2021年5月28日	教育学部学生 3年・生協学生委員会
理事	加藤 花	2021年5月28日	教育学部学生 3年・生協学生委員会
理事	森本 菜鈴	2021年5月28日	医学部学生 3年・生協学生委員会
理事	玉野 智大	2021年5月28日	工学部学生 3年・PC講座 iMUPS
理事	河原崎 亜佑	2021年5月28日	生物資源学部学生 2年・環境ISO学生委員会
理事	石丸 敏成	2021年5月28日	生物資源学部学生 4年・PC講座 iMUPS
理事	今村 栞音	2021年5月28日	生物資源学部学生 3年・生協学生委員会
理事	阪井 智香	2021年5月28日	生物資源学部学生 3年・生協学生委員会
理事	芝 幸治	2021年5月28日	員外(事業連合東海地区 事業推進部長)
監事	名島 利喜	2021年5月28日	人文学部教授(法律経済学科 法制研究)
監事	朴 恵淑	2021年5月28日	地域イノベーション学研究科特任教授
監事	大岡 瑞人	2021年5月28日	人文学部学生 3年・生協学生委員会
監事	岡井 陽菜	2021年5月28日	教育学部学生 3年・生協学生委員会

※ 略歴等は就任時の略歴です。

### (2) 辞任した役員

理事 片岡千明氏は2021年6月1日辞任いたしました。

### (3) 役員賠償責任保険契約

当生協が2020年12月16日の理事会決議にて加入した役員賠償責任保険契約の内容の概要は以下のとおり。

- ① 保険名称: 日本生協連の生協役員賠償責任保険(会社役員賠償責任保険)
- ② 保険契約者: 日本生活協同組合連合会
- ③ 保険期間: 2021年4月1日～2022年4月1日
- ④ 被保険者の範囲: 当生協のすべての理事および監事
- ⑤ 保険契約の内容の概要

被保険者が役員としての業務につき行った行為(不作為を含む)に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や争訟費用等を補償するもの。

ただし、贈収賄などの犯罪行為や意図的に違法行為を行った役員自身の損害等は補償対象外とすることにより、役員等の職務の執行の適正性が損なわれないようにするための措置を講じている。

保険料は全額当生協が負担する。

#### 4 職員数およびその増減その他の職員の状況

##### 職員状況表

区分	前期末数	当期末数
正規職員	15名	14名
定時職員	総数	122名
	正規換算数	23.6名
		109名
		27.6名

(注1) 定時職員の総人数は、年間2,000時間をもって1名として換算しています。

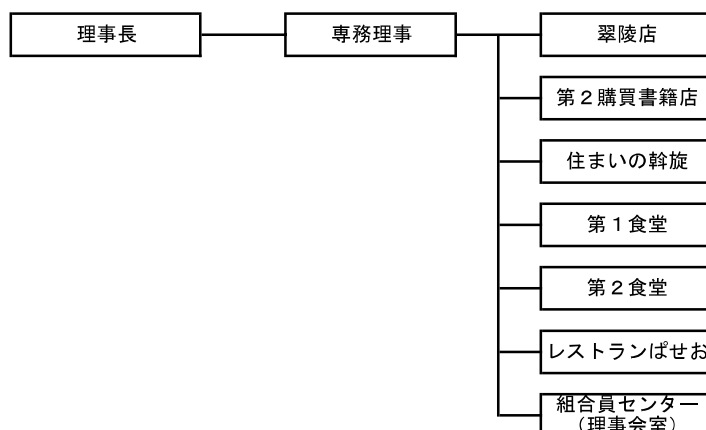
(注2) 出向受入者は5名です。

#### 5 業務の運営の組織に関する事項

##### (1) 運営組織図



##### (2) 経営組織図



#### 6 施設の設置状況に関する事項

##### 施設一覧表

施設名	所在地	土地	建物		摘要
			延床面積(㎡)	店舗面積(㎡)	
1、理事会室・住まいの幹旋	三重県津市栗真町屋町1577番地		120㎡	120㎡	借用
2、翠陵店	三重県津市栗真町屋町1577番地		330㎡	330㎡	借用
3、第2購買書籍店	三重県津市栗真町屋町1577番地		100㎡	100㎡	借用
4、第1食堂	三重県津市栗真町屋町1577番地		800㎡	120㎡	借用
5、第2食堂	三重県津市栗真町屋町1577番地		700㎡	150㎡	借用
6、パセオ	三重県津市栗真町屋町1577番地		160㎡	50㎡	借用

#### 7 子法人等および関連法人等の状況に関する事項

##### (1) 子法人等および関連法人等の概要

区分	関連法人等	
会社名	株式会社三重ティーエルオー	
所在地	三重県津市栗真町屋町1577番地三重大学内	
代表者氏名	体表取締役社長 飯田 和生	
設立年月日	2002年2月7日	
事業内容	大学等における研究成果の産業界への移転に関する事業	
資本金	資本金	1,205,438円(自己株式 11,794,562円を除く)

員平	生協の出資額	1,000,000 円
株式の状況	発行済株式の総数	68株(自己株式 192株を除く)
	生協の持株数	20株
	生協の持株比率	29%
決算日	2021年3月31日	
株主名	三重大学生協同組合 三重大学医学部三医会 三重大学三翠同窓会 その他7人	
当生協の関係役員	該当者なし	

## (2) 資産・負債・純資産の状況

単位:円

科目/決算期	2021年3月31日現在
流動資産	84,631,710
固定資産	20,066,001
資産合計	104,697,711
流動負債	16,135,728
固定負債	0
負債合計	16,135,728
資本金	1,205,438
剰余金	87,356,545
評価・換算差額等	-
純資産合計	88,561,983
負債及び純資産合計	104,697,711

## (3) 損益の状況(損益計算書)

単位:円

科目/決算期	2020年4月1日～2021年3月31日
営業収益	69,972,022
営業損失	4,056,064
経常損失金	182,537
当期純損失	643,660

## (4) 株主資本等変動計算書

単位:円

株主資本	前期末残高	89,706,171
	当期変動額	△ 1,144,188
	当期末残高	88,561,983
評価換算差額等	前期末残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	0
純資産合計	前期末残高	89,706,171
	当期変動額	△ 1,144,188
	当期末残高	88,561,983

## 8 事業連合に関する事項

### (1) 事業連合の概要

区分	関連法人等
連合会名	生活協同組合連合会大学生協事業連合
所在地	東京都杉並区和田3丁目30番22号
代表者氏名	理事長 井内 善臣
設立年月日	1969年10月1日創立、同年12月19日都知事認可
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会員の事業に必要な物資を購入し、これに加工もしくは加工しないで、又は生産して会員に供する事業</li> <li>2. 会員の組合員の生活に有用な協同施設を設置し、会員及び会員の組合員に利用させる事業</li> <li>3. 会員の組合員の生活の改善及び文化の向上を図るために必要な行事等の企画及び実施またはこれらに関連する情報を提供する事業</li> <li>4. 会員、会員の組合員及び役職員並びにこの会の役職員の組合事業に関する知識の向上を図るために必要な教育を行い、及び情報を提供する事業</li> </ol>

事業内容	5. 会員の組合員のための宅地建物取引業法に基づく宅地建物取引業に関する事業 6. 会員の組合員のための旅行業法に基づく旅行業に関する事業 7. 会員の組合員のための古物営業法に基づく古物営業に関する事業 8. 会員の利用に供する計算、運搬に関する事業 9. 会員の事業の支援、連絡並びに調整に関する事業 10. 前各号の事業に附帯する事業		
設立の理由	協同互助の精神に基づき、全国大学生生活協同組合連合会と提携し大学生生活協同組合の協同事業の中心として事業活動ならびに各種活動を行って会員事業の発展をはかり会員組合員の生活の経済的文化的向上をはかることを目的として設立されました。		
出資金及び総口数	出資金 総口数	4,948,510,000 円 494,851 口	
決算月日	2022年2月28日		
主な出資生協	全国大学生生活協同組合連合会	800,000,000 円	
	早稲田大学生生活協同組合	209,810,000 円	
	東京大学消費生活協同組合	187,180,000 円	
	立命館生活協同組合	185,720,000 円	
	慶應義塾生活協同組合	156,560,000 円	
	その他187大学生生活協同組合	3,409,240,000 円	
当生協の関係役員	該当者なし		

(注)出資金及び総口数ならびに出資生協は2022年2月末日現在です。

## (2) 資産・負債・純資産の状況

単位:円

科目/決算期	2022年2月28日現在(第55期)
流動資産	29,709,774,369
固定資産	7,655,229,644
資産合計	37,365,004,013
流動負債	31,852,136,732
固定負債	2,533,052,862
負債合計	34,385,189,594
出資金	4,948,510,000
損失金	1,968,695,581
評価・換算差額等	-
純資産合計	2,979,814,419
負債及び純資産合計	37,365,004,013

(注)上記貸借対照表は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定していませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています

## (3) 損益の状況(損益計算書)

単位:円

科目/決算期	2021年3月1日～2022年2月28日
供給高	88,167,102,273
供給剰余金	547,650,972
事業損失金	187,797,495
経常損失金	16,043,694
当期損失金	151,115,244
当期末処分損失金	1,968,695,581

(注)上記損益計算書は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定していませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています

区分	経常収益	経常費用		その他取引 費用
	供給高	仕入高	その他	
生活協同組合連合会 大学生協事業連合	-	756,745,433	25,334,000	38,426,416

#### 9 その他組合の組織運営の状況に関する重要な事項

2015年10月理事会にて、「内部統制の整備に関する基本方針」を議決しました。

- 1) 理事及び職員の職務の執行が、法令、定款などに適合することを確保します。
- 2) 理事及び職員の職務執行に関わる情報の保存及び管理を適正に行います。
- 3) 損失の危険の管理を行います。
- 4) 財務報告を適正に作成します。
- 5) 理事及び職員の職務の執行が適正に行われるようにします。
- 6) 監事監査がいっそう有効に行われるための環境を整備します。

これを受けて、具体的な課題に取り組み、全体として着実に実施されました。

#### Ⅲ. その他組合の状況に関する重要な事項

該当事項はありません。

# 2021年度事業報告書の附属明細書

2021年3月1日から2022年2月28日まで

三重県津市栗真町屋町1577番地  
三重大学生協同組合  
理事長 坂本 竜彦

## 1. 役員報酬等の状況

### <1> 役員報酬明細

区分	定款上の定員	支給人員	報酬等支払額	摘要
理事	25名～30名	1名	7,618,965	報酬の限度額:1,000万円
監事	3名～5名	0名	0	
合計		1名	7,618,965	

### <2> 役員退職金明細

区分	支払人員	役員退職金支給額
理事	0名	0
監事	0名	0
合計	0名	0

## 2. 役員の兼職の明細

区分	常勤・非常勤の別	代表権の有無	氏名	兼務先名	兼務先での役職名
理事	非常勤	無	村田 哲	三重県生活協同組合連合会	理事
		有		三重短期大学生協同組合	代表理事／常務理事
				三重県立看護大学生協同組合	代表理事／常務理事

## 3. 組合と役員との間の利益が相反する取引の明細

該当事項はありません。

## 4. 事業連合に関する事項

### <1> 事業連合に対する債権・債務明細表

#### ◎ 債権明細表

(単位:円)

区分	短期債権			長期債権		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
生活協同組合連合会 大学生協事業連合	144,407,746	201,593,141	57,185,395	0	0	0

#### ◎ 債務明細表

(単位:円)

区分	短期債務			長期債務		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
生活協同組合連合会 大学生協事業連合	54,811,961	64,833,564	10,021,603	0	0	0

## 5. その他事業報告書の内容を補足する重要な事項

該当事項はありません。



### Ⅲ. 2021年度決算関係書類

三重県津市栗真町屋町1577番地  
三重大学生協同組合  
理事長 坂本 竜彦

#### 貸借対照表 2022年2月28日 現在

三重大学生協同組合

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	542,238,689	流動負債	279,970,212
現金預金	244,344,092	買掛金	78,281,271
供給未収金	33,345,566	未払法人税等	303,000
商品及び原材料	62,160,632	未払消費税等	8,097,400
貯蔵品	3,190,000	未払費用	12,423,517
前渡金	200,000,000	前受金	105,606,353
立替金	155,860	預り金	70,057,825
未収金	828,639	賞与引当金	2,870,475
貸倒引当金(短期)	△ 1,786,100	ポイント引当金	626,371
		仮受金	1,704,000
固定資産	61,876,318	固定負債	60,429,934
有形固定資産	8,468,208	退職給付引当金	60,429,934
建物及び附属設備	16,994,517		
同減価償却累計額	△ 14,759,834		
	2,234,683	負債合計	340,400,146
機械装置	26,216,858	(純資産の部)	
同減価償却累計額	△ 24,356,733	組合員資本	263,714,861
	1,860,125	出資金	201,389,000
車両運搬具	6,581,574	剰余金	62,325,861
同減価償却累計額	△ 6,581,567	法定準備金	23,300,000
	7	当期末処分剰余金	39,025,861
器具備品	44,574,107	(うち当期剰余金)	(17,174,111)
同減価償却累計額	△ 40,200,714		
	4,373,393		
無形固定資産	1,120,633		
ソフトウェア	171,000		
電話加入権	949,633		
その他固定資産	52,287,477		
関係団体出資金	35,811,000		
子会社等株式	1,000,000		
長期前払費用	926,477		
差入保証金	14,550,000		
		純資産合計	263,714,861
資産合計	604,115,007	負債・純資産合計	604,115,007

損益計算書

自2021年3月1日 至2022年2月28日

三重大学生生活協同組合

(単位:円)

科目	金額	
供給事業		
供給高	999,193,121	
供給値引	<u>15,137,981</u>	984,055,140
供給原価		
期首商品棚卸高	65,841,140	
仕入高	792,296,865	
期末商品棚卸高	<u>62,160,632</u>	<u>795,977,373</u>
供給剰余金		188,077,767
その他事業収入		
共済受託手数料収入	9,192,531	
供給事業手数料収入	411,322	
その他手数料収入	<u>62,550,271</u>	<u>72,154,124</u>
事業総剰余金		260,231,891
事業経費		
人件費	149,153,800	
物件費	<u>101,325,334</u>	<u>250,479,134</u>
事業剰余金		9,752,757
事業外収益		
受取利息	138,821	
受取配当金	54,983	
雑収入	<u>5,560,807</u>	5,754,611
事業外費用		
雑損失	1,254,257	<u>1,254,257</u>
経常剰余金		14,253,111
特別利益		
補助金収入	100,000	
その他特別利益	<u>3,369,000</u>	3,469,000
特別損失		
その他特別損失	<u>245,000</u>	<u>245,000</u>
税引前当期剰余金		17,477,111
法人税等		<u>303,000</u>
当期剰余金		17,174,111
当期首繰越剰余金		<u>21,851,750</u>
当期末処分剰余金		<u><u>39,025,861</u></u>

## 剰余金処分案

2022年5月27日

三重大学生生活協同組合

(単位:円)

項 目	金 額	
I 当期末処分剰余金	39,025,861	
II 剰余金処分数額		
法定準備金	1,800,000	1,800,000
III 次期繰越剰余金	37,225,861	

(次期繰越剰余金には教育事業等繰越金860,000円を含みます。)

## 1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法は以下のとおりです。

① 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価基準および評価方法

書籍・購買（商品） 売価還元法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に  
もとづく簿価切り下げの方法により算定）

食堂（食材） 最終仕入原価法による原価法（ 〃 ）

(2) 固定資産の減価償却の方法は以下のとおりです。

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法。

ただし、2007年3月31日以前に取得した建物については旧定額法。

2007年4月1日以降に取得した建物については定額法。

また、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備は定額法。

主な耐用年数は以下のとおりです。

建物及び附属設備 10年～20年

機械装置 8年

車両運搬具 4年

器具備品 3年～20年

② 無形固定資産

ソフトウェアは利用期間（5年）に基づく定額法

(3) 引当金の計上基準は以下のとおりです。

① 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に基づく繰入限度額相当額を計上していま  
す。

② 賞与引当金

職員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込による当期負担額を計上  
しています。

③ ポイント引当金

供給促進をはかるために付与したポイントの期末における未使用残高に使用実績  
を見積もって計上しています。

④ 退職給付引当金

・ 退職給付債務の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（簡便法に  
よる期末自己都合退職要支給額を採用）及び年金資産の見込み額をもとに計算  
した金額を退職給付引当金として計上しています。

・ 採用する退職給付制度

職員の退職により支給する退職給付にあてるため退職一時金制度、企業年金基金制度を採用しています。

・ 企業年金基金制度について

職員については日生協企業年金基金に加入していますが、複数の事業主により設立された企業年金である総合設立型基金のため退職給付債務等は計上していません。

なお、要拠出額を退職給付費用として処理している複数事業主制度に関する事項は次のとおりです。

(ア) 要拠出額を費用として処理している複数事業主制度に関する事項

年金資産の額 (2022年2月末日)	45,680,185 千円
年金財政計算上の数理債務の額	34,740,476 千円
差引額	10,939,709 千円

(イ) 制度全体に占める当連合の掛け金拠出割合 (加入者割合)

加入者総数 (2022年2月末日)	49,037 人
三重大学生協加入者数 (2022年2月末日)	14 人
制度全体に占める加入者数割合	0.029%

(ウ) 補足説明

数理債務は2021年3月末時点、年金時価資産額は上記基準日時点の金額を使用しており期間に差が生じています。基準日時点における数理債務は当該期間分増加するものと予想され、それを追加すると差引額は減少します。

なお2021年3月時点の繰越額は、10,161,988,595円となり、過去勤務債務残高はありません。

(4) その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しています。

2. 会計方針の変更に関する注記

該当する事項はありません。

3. 表示方法の変更に関する注記

該当する事項はありません。

4. 誤謬の訂正に関する注記

該当する事項はありません。

5. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

該当する事項はありません。

(2) 役員に対する金銭債権または金銭債務

「11. 関連当事者との取引に関する注記」にて記載しています。

(3) 関連法人等に対する債権債務

「11. 関連当事者との取引に関する注記」にて記載しています。

6. 損益計算書に関する注記

(1) 大学生協東海事業連合との取引高

「11. 関連当事者との取引に関する注記」にて記載しています。

(2) 事業外損益の主な内訳は以下の通りです。

○ 雑収入の主な内訳は、雇用調整助成金 5,020,907 円です。

○ 雑損失の主な内訳は、出資金整理後返還金 480,000 円です。

(3) 特別損益の主な内訳は以下の通りです。

○ その他特別利益は、出資金整理益 3,369,000 円です。

○ その他特別損失は、大学指定寄付金 245,000 円です。

(4) 法人税等には、住民税が含まれています。

(5) 当期期首繰越剰余金には、剰余金処分により繰越した消費生活協同組合法第 51 条の 4 第 4 項に規定する教育事業繰越金 140,000 円が含まれています。

7. 剰余金処分案に関する注記

(1) 法定準備金は、消費生活協同組合法第 51 条の 4 第 1 項の規定に規定する積立金です。

(2) 次期繰越剰余金には、消費生活協同組合法第 51 条の 4 第 4 項に規定する教育事業等繰越金 860,000 円が含まれています。

8. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産の発生の原因別の内訳

賞与引当金繰入額否認	513,815 円
繰延資産償却超過額	60,932 円
一括償却資産損金算入限度超過額	124,858 円
退職給付引当金	15,343,160 円
ポイント引当金	159,036 円
税務上の繰越欠損金	881,785 円
(繰越税金資産の計算上生じた端数金額)	△ 1 円
繰延税金資産小計	17,083,585 円
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額	△ 881,785 円
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	△ 16,201,800 円
繰延税金資産の純額	0 円

9. リースによる使用する固定資産に関する注記

該当する事項はありません。

## 10. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

資産について投機的な運用等を行っていません。

また資金の調達において投機的な取引を行っていません。

### (2) 金融商品の時価等に関する事項

関係団体出資金等の金融商品については帳簿価額を時価とみなすもの、帳簿価額と時価との差額に重要性がないものおよび時価を把握することが極めて困難なものとなっており 2022年2月28日現在、貸借対照表計上額と時価に大きな乖離のあるものはありません。

## 11. 関連当事者との取引に関する注記

### (1) 会社等

種類：関連法人

法人等の名称：株式会社三重ティーエルオー

所在地：三重県津市栗真町屋町 1577 三重大学内

資本金又は出資金：13,000,000 円

事業内容：三重大学研究成果、特許等の移転

議決権等の所有割合：直接 29%

関係当事者との関係：販売先

取引の内容：商品供給 1,441,955 円 印刷代 74,462 円

【科 目】	【期末残高】
-------	--------

供給未収金	11,000 円
-------	----------

### (2) 組合

種類：関連法人（重要な影響を与える連合会）

法人等の名称：生活協同組合連合会大学生協事業連合

所在地：東京都杉並区和田 3 丁目 30 番 22 号

資本金又は出資金：4,948,510,000 円

事業の内容：商品開発・卸売

議決権等の所有（被所有）割合：間接 0.5%

関係当事者との関係：仕入先

取引の内容：商品仕入 756,745,433 円 業務委託 25,334,000 円

【科 目】	【期末残高】
-------	--------

供給未収金	649,000 円
-------	-----------

クレジット等未収金	502,099 円
-----------	-----------

前渡金	200,000,000 円
-----	---------------

未収金	442,042 円
-----	-----------

関係団体出資金	24,450,000 円
---------	--------------

買掛金 63,454,274 円

未払費用 1,379,290 円

(取引条件および取引条件の決定方針等)

商品の仕入については、市場の実勢価格を勘案して価格を決定しています。なお、上記金額のうち、取引金額については消費税等が含まれていませんが、期末残高には含まれています。

(3) 役員およびその近親者

該当する事項はありません。

1 2. 重要な後発事象に関する注記

該当する事項はありません。

1 3. その他の注記

該当する事項はありません。



## 2021年度決算関係書類の附属明細書

三重県津市栗真町屋町1577番地  
三重大学生協同組合  
理事長 坂本 竜彦

### 1. 会員資本の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
出資金	211,108,500	34,132,500	43,852,000	201,389,000	
法定準備金	23,000,000	300,000	0	23,300,000	
当期末処分剰余金	22,151,750	17,174,111	300,000	39,025,861	
合 計	256,260,250	51,606,611	44,152,000	263,714,861	

### 2. 借入金の明細

#### <1>長期借入金等の増減

該当事項はありません。

#### <2>短期借入金等の増減

該当事項はありません。

### 3. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減損損失 累計額	減価償却 累計額	期末 取得原価
建物及び附属設備	2,899,308	0	0	664,625	2,234,683	0	14,759,834	16,994,517
構築物	0	0	0		0	0	0	0
機械及び装置	1,022,187	1,300,000	0	462,062	1,860,125	0	24,356,733	26,216,858
車両運搬具	7	0	0	0	7	0	6,581,567	6,581,574
器具備品	7,221,774	0	0	2,848,381	4,373,393	0	40,200,714	44,574,107
土地	0	0	0		0	0	0	0
有形固定資産合計	11,143,276	1,300,000	0	3,975,068	8,468,208	0	85,898,848	94,367,056
ソフトウェア	342,000	0	0	171,000	171,000			
電話加入権	949,633	0	0	0	949,633			
無形固定資産合計	1,291,633	0	0	171,000	1,120,633			
合 計	12,434,909	1,300,000	0	4,146,068	9,588,841			

### 4. 関係団体出資金の明細

(単位:円)

相 手 先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
大学生協事業連合	24,450,000		0	24,450,000	
全国大学生協同組合連合会	6,819,000	0	0	6,819,000	
全国大学生協共済生活協同組合連合会	4,500,000	0	0	4,500,000	
三重県生活協同組合連合会	20,000	0	0	20,000	
東海労働金庫	22,000	0	0	22,000	
合 計	35,811,000	0	0	35,811,000	

### 5. 引当金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
貸倒引当金(流)	1,356,600	1,786,100	1,356,600	1,786,100	
賞与引当金	2,130,025	2,870,475	2,130,025	2,870,475	
ポイント引当金	1,027,905	626,371	1,027,905	626,371	
退職給付引当金	66,237,506	18,044,169	23,851,741	60,429,934	
役員退職給与引当金	4,560,496	91,400	4,651,896	0	
合 計	74,678,488	23,418,515	33,018,167	65,712,880	

## 6. 事業経費の明細 (単位:円)

科	目	金額
1.人件費	役員報酬	7,618,965
	職員給与	56,557,683
	定時職員給与	64,147,650
	退職給付費用	3,411,170
	法定福利費	13,293,407
	厚生費	1,163,050
	役員退職給与引当繰入額	91,400
	賞与引当金繰入	2,870,475
	人件費合計	149,153,800
2.物件費	教育文化費	19,919
	広報費	6,733,512
	消耗品費	13,676,746
	車両運搬費	6,558,754
	貸倒引当金繰入	429,500
	ポイント引当金繰入	626,371
	施設維持管理費	6,804,378
	減価償却費	4,146,068
	賃借料	900,579
	水道光熱費	6,721,840
	保険料	543,560
	委託料	15,186,873
	研修採用費	331,117
	調査研究費	464,132
	会議費	154,934
	諸会費	3,960,705
	渉外費	13,641
	租税公課	498,305
	通信交通費	4,939,969
	雑費	3,280,431
事業連合委託費	25,334,000	
	物件費合計	101,325,334
	事業経費合計	250,479,134

## 7. 事業の種類ごとの損益の明細および事業別事業経費明細

事業は供給・利用事業のみのため事業の種類ごとの損益の明細および事業別事業経費明細は、損益計算書および事業経費明細と同じです。

## 8. キャッシュ・フロー計算書

### キャッシュ・フロー計算書

三重大学生協同組合

間接法

自2021年3月1日 至2022年2月28日

(単位:円)

I. 事業活動におけるキャッシュ・フロー	
税引前当期剰余金	17,477,111
減価償却費	4,146,068
貸倒引当金の増加額	429,500
賞与引当金の増加額	740,450
退職給付引当金の減少額	△ 5,807,572
役員退職給与引当金の減少額	△ 4,560,496
受取利息及び受取配当金	△ 193,804
供給債権の減少額	2,556,433
棚卸資産の減少額	4,340,508
仕入債務の増加額	13,038,185
未払消費税等の増加額	8,097,400
ポイント引当金の減少	△ 401,534
(事業活動)その他	△ 67,143,426
	小計
	△ 27,281,177
利息及び配当金の受領額	193,804
法人税等の支払額	△ 303,000
事業活動によるキャッシュ・フロー	△ 27,390,373
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	10,000,000
固定資産の取得による支出	△ 1,130,533
子会社等株式の取得による支出	△ 1,000,000
長期保有有価証券の売却による収入	1,000,000
差入保証金の払戻による収入	10,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,869,467
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
出資金仮受金の減少額	△ 96,500
組合員出資金の減少額	△ 9,719,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,816,000
IV 現金及び現金同等物の増加額	△ 27,336,906
V 現金及び現金同等物の期首残高	241,680,998
VI 現金及び現金同等物の期末残高	214,344,092

(注) 現金及び現金同等物の範囲

(単位:円)

項 目	期 首	期 末
現金及び預金	281,680,998	244,344,092
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 40,000,000	△ 30,000,000
現金及び現金同等物	241,680,998	214,344,092

## 9. 主要な事業に係る資産及び負債の内容その他の決算関係書類の内容を補足する重要な事項

### <1>主要な資産の内訳

◎ 現金預金の明細

(単位:円)

区 分	金融機関	口座番号	期首残高	期末残高	当期増減額
現金	レジ現金		328,738	492,211	163,473
	出納現金		357,262	761,419	404,157
	小口現金(運営自販機約銭)		2,737,010	2,727,860	△ 9,150
	両替金		2,000,000	2,000,000	0
	ゆうちょ銀行	40170	7,066,501	387,465	△ 6,679,036
	ゆうちょ銀行	40178	1,477,708	1,283,578	△ 194,130
	ゆうちょ銀行	40183	1,170,643	2,462,887	1,292,244
	ゆうちょ銀行	58345	11,550,837	8,900,262	△ 2,650,575
	ゆうちょ銀行	79980	3,471,950	113,344	△ 3,358,606
	ゆうちょ銀行	82830	33,685	8,313,579	8,279,894
	ゆうちょ銀行	84090	9,735	9,529	△ 206
	ゆうちょ銀行	84242	52,257	52,051	△ 206
	ゆうちょ銀行	88654	63,603,613	24,634,350	△ 38,969,263
	ゆうちょ銀行	98702	1,036,642	3,977,322	2,940,680
	ゆうちょ銀行	112106	3,479,017	902,423	△ 2,576,594
普通預金	百五銀行 栗真	5241	60,842,166	61,712,614	870,448
	百五銀行 栗真	5238	11,603,782	2,021,729	△ 9,582,053
	百五銀行 栗真	280452	750,536	48,076	△ 702,460
	百五銀行 栗真	281032	4,755,426	1,683,269	△ 3,072,157
	百五銀行 栗真	293898	1,202,898	145,358	△ 1,057,540
	百五銀行 栗真	298483	561,460	1,443,760	882,300
	百五銀行 栗真	301102	38,251,454	1,904,763	△ 36,346,691
	三十三銀行 三重大学前	322481	639,600	638,670	△ 930
	東海労働金庫 津	1128169	22,525,633	77,319,486	54,793,853
	ゆうちょ銀行	27071191	2,172,445	10,408,087	8,235,642
定期預金	百五銀行 栗真	271040	10,000,000	10,000,000	0
	三十三銀行 三重大学前	297899	10,000,000	10,000,000	0
	ゆうちょ銀行	6379950	10,000,000	0	△ 10,000,000
	東海労働金庫 津	6225137	10,000,000	10,000,000	0
合 計			281,680,998	244,344,092	△ 37,336,906

◎ 供給未収金の明細

内訳

(単位:円)

内 訳	金 額
大学等利用	28,722,361
一般売掛	2,614,773
利用班未収金	365,851
連合未収金	649,000
クレジット未収金	993,581
合 計	33,345,566

回収状況

(単位:円)

内 訳	期首残高	当期発生高	当期回収高	期末残高	回収率
大学等利用	26,991,068	244,358,558	242,627,265	28,722,361	89.4%
一般売掛	6,444,147	274,615,122	278,444,496	2,614,773	99.1%
利用班未収金	506,362	3,419,501	3,560,012	365,851	90.7%
連合未収金	308,000	2,196,183	1,855,183	649,000	74.1%
クレジット未収金	1,652,422	52,938,591	53,597,432	993,581	98.2%

$$\text{回収率} = \frac{\text{当期回収高}}{\text{期首残高} + \text{当期発生高}} \times 100$$

◎ 有価証券の明細

該当事項はありません。

◎ 商品の明細 (単位:円)

科 目	内 訳	金 額
商品	文具	5,071,873
	情報機器	12,143,318
	PCソフト	437,580
	衣料・スポーツ	1,288,237
	AV・家電・家具	29,452
	日用雑貨	461,765
	食品・菓子	685,923
	パン・米飯	26,207
	飲料・デザート	573,716
	写真・印刷	13,323
	官製品	432,722
	物販その他(内外)	514,496
	物販その他(非非)	4,100
	酒・医薬品等	113
	物販その他(内外)	91,732
	SVその他(内内)	49,357
	書籍総合	37,995,791
	図書カード	389,001
	メニュー	1,951,926
合 計	62,160,632	

◎ 貯蔵品 (単位:円)

相 手 先	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
	IC発行前ホワイトカード	3,850,000	3,190,000	△ 660,000
	合 計	3,850,000	3,190,000	△ 660,000

◎ 前渡金 (単位:円)

相 手 先	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	事業連合前渡金	143,756,541	200,000,000	56,243,459
	合 計	143,756,541	200,000,000	56,243,459

◎ 立替金の明細 (単位:円)

相 手 先	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
全国大学生協共済連	解約返戻金	2,290	2,080	△ 210
職員	給与控除立替金	0	43,780	43,780
CLT津支店	家電代	0	110,000	110,000
	合 計	2,290	155,860	153,570

◎ 未収消費税等の明細  
該当事項はありません。

◎ 前払費用の明細  
該当事項はありません。

◎ 未収金の明細 (単位:円)

相 手 先	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	手数料等	343,205	442,042	98,837
全国大学生協連	学生生活110番手数料	27,533	0	△ 27,533
大学生協事業連合	図書券・図書カード	287,376	12,039	△ 275,337
全国大学生協連東海ブロック	フェア商品補填	0	20,923	20,923
三重短期大学生生活協同組合	業務委託料等	126,899	96,423	△ 30,476
三重県立看護大学生生活協同組合	業務委託料等	111,414	157,212	45,798
三重労働局	雇用調整助成金等	5,472,586	0	△ 5,472,586

(株)ジェイティービー	旅行券	0	100,000	100,000
その他		6,445	0	△ 6,445
合 計		6,375,458	828,639	-5,546,819

㊦ 電話加入権の明細

(単位:円)

設 置 場 所	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
事務所	059-231-1103	83,214	83,214	0
事務所FAX	059-231-3852	69,800	69,800	0
翠陵店	059-232-8009	58,714	58,714	0
翠陵店	059-236-1080	72,800	72,800	0
翠陵店	059-236-1081	72,800	72,800	0
翠陵店FAX	059-232-1607	80,800	80,800	0
翠陵店旅行端末	059-236-2055	72,800	72,800	0
第1食堂	059-231-1571	86,094	86,094	0
第2食堂	059-232-9508	63,811	63,811	0
第2購買書籍店	059-232-9510	70,800	70,800	0
第2購買書籍店	059-232-9518	72,800	72,800	0
第2購買書籍店	059-232-9531	72,800	72,800	0
休止	059-232-7702	72,400	72,400	0
合 計		949,633	949,633	0

㊦ その他無形固定資産

該当事項はありません。

㊦ 子会社等株式の明細

(単位:円)

相 手 先	期首残高	期末残高	当期増減額
三重TLO	0	1,000,000	1,000,000
合 計	0	1,000,000	1,000,000

㊦ 長期保有有価証券の明細

(単位:円)

相 手 先	期首残高	期末残高	当期増減額
三重TLO	1,000,000	0	△ 1,000,000
合 計	1,000,000	0	△ 1,000,000

㊦ 長期貸付金の明細

該当事項はありません。

㊦ 長期前払費用の明細

(単位:円)

相 手 先	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
自動車リサイクル促進センター	ワゴンR 三重51い8896	8,910	8,910	0
自動車リサイクル促進センター	ワゴンR 三重51て4610	9,200	9,200	0
自動車リサイクル促進センター	エブリー 三重480き4988	9,080	9,080	0
自動車リサイクル促進センター	エブリー 三重480け87	9,310	9,310	0
自動車リサイクル促進センター	エブリー こ7300	9,310	9,310	0
自動車リサイクル促進センター	エブリー て1832	8,400	8,400	0
自動車リサイクル促進センター	エブリー な3919	8,400	8,400	0
(株)林商店	カラー印刷機保守料	1,033,334	863,867	△ 169,467
合 計		1,095,944	926,477	△ 169,467

㊦ 差入保証金の明細

(単位:円)

差 入 先	内 訳	金額
津地方法務局	旅行業供託金	3,000,000
津地方法務局	宅建業供託金	10,000,000
全国大学生生活協同組合連合会	旅客取扱代理店店舗保証金	1,000,000
日本出版販売(株)	全国共通図書券加盟店加入金	20,000
日本出版販売(株)	図書カード端末機無償貸与保証金	30,000
(株)ジェイティービー	たびネットII 端末保証金	500,000
合 計		14,550,000

## <2>主要な負債の内訳

### ◎ 買掛金の明細 (単位:円)

相手先	金額
大学生協事業連合	63,454,274
(株)杉新衣裳店	12,456,402
その他	2,370,595
合計	78,281,271

### ◎ 未払金の明細 該当事項はありません。

### ◎ 未払法人税等の明細 (単位:円)

内訳	金額
法人県民税	143,000
法人市民税	160,000
合計	303,000

### ◎ 未払消費税等の明細

内訳	金額
2021年度消費税等	8,097,400
合計	8,097,400

### ◎ 未払費用の明細 (単位:円)

相手先	内訳	金額
大学生協事業連合	2月分経費等	1,379,290
職員	2月分職員給与	7,684,312
日本年金機構	2月分社会保険料事業主負担	969,829
三重大学	電気水道料金等	888,102
(株)河芸タクシー	タクシー代	383,500
東邦ガス(株)	ガス料金	252,690
(株)プリントパック	印刷代	211,850
その他	2月分経費等	653,944
合計		12,423,517

### ◎ 前受金の明細 (単位:円)

相手先	内訳	金額
組合員	ICプリペイド前受領	61,054,848
組合員	サービス予約金	677,970
組合員	ICミールカード振替	9,198,066
組合員	物品予約金	7,338,520
組合員	催事予約金	8,420,349
組合員	卒業アルバム予約金	18,916,600
合計		105,606,353

### ◎ 預り金の明細 (単位:円)

内訳	金額
大学生協保険サービス	8,800
学生生活110番預り金	205,100
ICプリペイド預り金	36,350,539
勉学援助制度預り金	1,000
住まい斡旋預り金	3,014,750
2021年度食堂パス残高	27,954,621
2022年度ICプリペイド申込	1,250,000
預り共済掛金等	882,480
雇用保険料	△ 198,065
その他	597,400
合計	70,057,825

◎ 預り保証金の明細  
該当事項はありません。

◎ その他負債の明細 (単位:円)

科 目	期首残高	期末残高	当期増減額
仮受金(新入生出資金)	1,800,500	1,704,000	△ 96,500
合 計	1,800,500	1,704,000	△ 96,500

<3> 比較貸借対照表および比較損益計算書  
別紙



比較貸借対照表  
2022年2月28日 現在

三重大学生活協同組合

(単位:円)

科目	2020年度	2021年度	科目	2020年度	2021年度
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	539,653,726	542,238,689	流動負債	278,487,327	279,970,212
現金預金	281,680,998	244,344,092	買掛金	65,243,086	78,281,271
供給未収金	35,901,999	33,345,566	未払法人税等	303,000	303,000
商品及び原材料	65,841,140	62,160,632	未払消費税等	0	8,097,400
貯蔵品	3,850,000	3,190,000	未払費用	9,828,251	12,423,517
前渡金	143,756,541	200,000,000	前受金	90,043,710	105,606,353
立替金	2,290	155,860	預り金	108,110,850	70,057,825
未収消費税等	3,601,900	0	賞与引当金	2,130,025	2,870,475
未収金	6,375,458	828,639	ポイント引当金	1,027,905	626,371
貸倒引当金(短期)	△ 1,356,600	△ 1,786,100	仮受金	1,800,500	1,704,000
固定資産	65,891,853	61,876,318	固定負債	70,798,002	60,429,934
有形固定資産	11,143,276	8,468,208	退職給付引当金	66,237,506	60,429,934
建物及び附属設備	16,994,517	16,994,517	役員退職給与引当金	4,560,496	0
同減価償却累計額	△ 14,095,209	△ 14,759,834			
	2,899,308	2,234,683	負債合計	349,285,329	340,400,146
機械装置	24,916,858	26,216,858			
同減価償却累計額	△ 23,894,671	△ 24,356,733	(純資産の部)		
	1,022,187	1,860,125	組合員資本	256,260,250	263,714,861
車輛運搬具	6,581,574	6,581,574	出資金	211,108,500	201,389,000
同減価償却累計額	△ 6,581,567	△ 6,581,567			
	7	7	剰余金	45,151,750	62,325,861
器具備品	44,574,107	44,574,107	法定準備金	23,000,000	23,300,000
同減価償却累計額	△ 37,352,333	△ 40,200,714	当期末処分剰余金	22,151,750	39,025,861
	7,221,774	4,373,393	(うち当期剰余金)	(2,797,651)	(17,174,111)
無形固定資産	1,291,633	1,120,633			
ソフトウェア	342,000	171,000			
電話加入権	949,633	949,633			
その他固定資産	53,456,944	52,287,477			
関係団体出資金	35,811,000	35,811,000			
子会社等株式	0	1,000,000			
長期保有有価証券	1,000,000	0			
長期前払費用	1,095,944	926,477			
差入保証金	15,550,000	14,550,000			
			純資産合計	256,260,250	263,714,861
資産合計	605,545,579	604,115,007	負債・純資産合計	605,545,579	604,115,007

## 比較損益計算書

三重大学生協同組合

(単位:円)

科目	2020年度実績	2021年度予算	2021年度実績	対前年増減額	対予算差異額
供給高	903,827,273	1,017,233,000	999,193,121	95,365,848	△ 18,039,879
供給値引	14,953,246	10,985,000	15,137,981	184,735	4,152,981
純供給高	888,874,027	1,006,248,000	984,055,140	95,181,113	△ 22,192,860
期首商品棚卸高	70,429,636		65,841,140	△ 4,588,496	
仕入高	725,117,689		792,296,865	67,179,176	
期末商品棚卸高	65,841,140		62,160,632	△ 3,680,508	
供給剰余金	159,167,842	190,572,000	188,077,767	28,909,925	△ 2,494,233
共済受託事業手数料収入	9,315,732	9,500,000	9,192,531	△ 123,201	△ 307,469
供給事業手数料収入	471,458	435,000	411,322	△ 60,136	△ 23,678
その他手数料収入	58,771,012	56,811,000	62,550,271	3,779,259	5,739,271
その他事業収入	68,558,202	66,746,000	72,154,124	3,595,922	5,408,124
事業総剰余金	227,726,044	257,318,000	260,231,891	32,505,847	2,913,891
役員報酬	8,178,624	7,572,000	7,618,965	△ 559,659	46,965
職員給与	61,784,972	57,344,000	56,557,683	△ 5,227,289	△ 786,317
定時職員給与	71,448,962	68,232,000	64,147,650	△ 7,301,312	△ 4,084,350
退職給付費用	1,153,739	3,060,000	3,411,170	2,257,431	351,170
法定福利費	15,141,830	14,525,000	13,293,407	△ 1,848,423	△ 1,231,593
厚生費	1,150,891	2,316,000	1,163,050	12,159	△ 1,152,950
役員退職給与引当金繰入	368,800	744,000	91,400	△ 277,400	△ 652,600
賞与引当金繰入	2,130,025	3,500,000	2,870,475	740,450	△ 629,525
人件費合計	161,357,843	157,293,000	149,153,800	△ 12,204,043	△ 8,139,200
教育文化費	73,951	560,000	19,919	△ 54,032	△ 540,081
広報費	6,922,246	9,741,000	6,733,512	△ 188,734	△ 3,007,488
消耗品費	12,606,563	13,970,000	13,676,746	1,070,183	△ 293,254
物流費	0	0	0	0	0
車両運搬費	11,680,527	6,274,000	6,558,754	△ 5,121,773	284,754
貸倒引当金繰入	1,098,900	100,000	429,500	△ 669,400	329,500
ポイント引当金繰入	1,027,905	800,000	626,371	△ 401,534	△ 173,629
施設維持管理費	6,171,359	8,085,000	6,804,378	633,019	△ 1,280,622
減価償却費	6,108,780	5,209,000	4,146,068	△ 1,962,712	△ 1,062,932
賃借料	1,422,056	2,319,000	900,579	△ 521,477	△ 1,418,421
水道光熱費	6,936,255	6,935,000	6,721,840	△ 214,415	△ 213,160
保険料	487,990	580,000	543,560	55,570	△ 36,440
委託料	14,833,936	19,457,000	15,186,873	352,937	△ 4,270,127
研修採用費	373,940	3,161,000	331,117	△ 42,823	△ 2,829,883
調査研究費	279,536	599,000	464,132	184,596	△ 134,868
会議費	124,661	2,372,000	154,934	30,273	△ 2,217,066
諸会費	4,297,205	4,847,000	3,960,705	△ 336,500	△ 886,295
渉外費	0	100,000	13,641	13,641	△ 86,359
租税公課	432,930	422,000	498,305	65,375	76,305
通信交通費	5,424,178	6,005,000	4,939,969	△ 484,209	△ 1,065,031
雑費	2,279,613	4,719,000	3,280,431	1,000,818	△ 1,438,569
事業連合委託費	31,324,000	25,015,000	25,334,000	△ 5,990,000	319,000
物件費合計	113,906,531	121,270,000	101,325,334	△ 12,581,197	△ 19,944,666
事業経費合計	275,264,374	278,563,000	250,479,134	△ 24,785,240	△ 28,083,866
事業剰余金	△ 47,538,330	△ 21,245,000	9,752,757	57,291,087	30,997,757
受取利息	989,670	360,000	138,821	△ 850,849	△ 221,179
受取配当金	54,880	50,000	54,983	103	4,983
雑収入	37,432,453	79,000	5,560,807	△ 31,871,646	5,481,807
事業外収益	38,477,003	489,000	5,754,611	△ 32,722,392	5,265,611
雑損失	2,495,671	560,000	1,254,257	△ 1,241,414	694,257
事業外費用	2,495,671	560,000	1,254,257	△ 1,241,414	694,257
経常剰余金	△ 11,556,998	△ 21,316,000	14,253,111	25,810,109	35,569,111
特別利益	16,039,786	2,000,000	3,469,000	△ 12,570,786	
特別損失	1,382,137	100,000	245,000	△ 1,137,137	
税引前当期剰余金	3,100,651	△ 19,416,000	17,477,111	14,376,460	36,893,111
法人税等	303,000	0	303,000	0	
当期剰余金	2,797,651	△ 19,416,000	17,174,111	14,376,460	36,590,111
当期首繰越剰余金	19,354,099		21,851,750	2,497,651	
当期末処分剰余金	22,151,750	△ 19,416,000	39,025,861	16,874,111	58,441,861

## 監査報告書

私たち監事は、2021年3月1日から2022年2月28日までの2021年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

監事会は、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監事は、他の監事と意思疎通および情報交換を図るほか、理事、その他の職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。

事業報告書について、これに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）及びその附属明細書について検討いたしました。

また、会計指導書の内容を確認しました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告書等の監査結果

一 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 決算関係書類（剰余金処分案を除く）及びその附属明細書の監査結果

決算関係書類（剰余金処分案を除く）及びその附属明細書は、組合の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認めます。

#### (3) 剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2022年4月25日

三重大学生協同組合

監事 朴 惠 淑

監事 名 島 利 喜

監事 大 岡 病 人

監事 岡 井 陽 菜

## 内部統制課題総括と課題

2015年10月理事会で、内部統制課題の議決をおこない、15年度下期以降の方針を定めました。

内部統制とは判例や会社法等で近年確立した考え方で、改正生協法により、実質的に生協理事の法的義務になっています。大学にとっても近年の重要課題で大学関係者が注目しています。

当生協では、リスク管理、内部組織と経営の強化、法令遵守、大学や組合員との関係強化、専務理事のいっそうの役割発揮等のために、内部統制を整備しました。とりくむ視点として、「まったく新しく」ということではなく、「内部統制課題を意識しながら諸活動を組み立て、継続的に改善する」という視点を大切にしました。

理事会は、この理事会決議の概要と運用状況の要点を、毎年の総代会への事業報告書に記載することになります。また、理事会が内部統制に関する理事会決議を行なった場合、監事はこの決議の内容や理事の職務の執行について監査することになっています。

### 1. 理事会議決「内部統制の整備に関する基本方針」は、以下の通りです。(2015年10月理事会で議決)

三重大学生協同組合は、組合員と大学全体の負託に応え、「三重大学生協のミッションとビジョン」を達成するために事業活動、組合員活動を行います。この前提として、当生協は「業務の有効性及び効率性」、「財務報告の信頼性」、「事業活動に関わる法令等の遵守」、「資産の保全」の4つの目的を達成するために必要な内部統制の整備に関する基本方針(以下「基本方針」)を次のとおり定めます。

- 1) 理事及び職員の職務の執行が、法令、定款などに適合することを確保します。
- 2) 理事及び職員の職務執行に関わる情報の保存及び管理を適正に行います。
- 3) 損失の危険の管理を行います。
- 4) 財務報告を適正に作成します。
- 5) 理事及び職員の職務の執行が効率的に行われるようにします。
- 6) 監事監査がいっそう有効に行われるための環境を整備します

2015年10月22日 三重大学生協同組合 2015年度第5回理事会

### 2. 理事会議決にもとづく内部統制課題についての執行状況 執行状況は(●)です。

- 1) 理事及び職員の職務の執行が、法令、定款などに適合することを確保します。
  - ① 理事会、代表理事は、法令や定款の遵守が重要であり、経済的利益に優先することを自覚して、常にこの立場で意思決定、業務執行に当たります。(●)実施しています。
  - ② 理事会は、生協法をはじめ各種法令を遵守し、もし生協や役職員が法令に反する行為をしていることに気づいたときは、そのままにせず、是正に向けて行動します。(●)実施しています。該当する事項はありません。
  - ③ 理事会は、生協法に反しないように定款を定め、生協法及び定款に基づき規約、規則等を整備します。定めた規則等は必要に応じて参照し、実態と規則等とが異なるときは、「規則等に実態を合わせる」または「より適切な内容になるよう規則等の内容を改める」等の措置をとります。規則等と実態との不一致を放置しません。(●)実施しています。規則は整備をすすめてきました。
  - ④ 総代選挙、総代会の招集手続き、役員選挙、総代会当日の運営などを、生協法や定款、規約にもとづいて適切に実施しま

す。(●)法令、規則に基づき適切に実施しています。現在、不備はありません。

- ⑤ 組合員名簿にいくつかの不備があるので、実態のない組合員の整理等も行なって、法令、定款に沿った組合員名簿を維持し続けます。(●)組合員名簿の管理、脱退対象の組合員に返還手続きを行ってきました。
  - ⑥ 専務理事は、全国大学生協連から適宜提供される法令遵守に関するチェックリスト、学習資材等を確実に取り扱います。(●)学習資材等に基づき運営・点検を実施しています。
  - ⑦ 反社会的勢力による不当要求に対しては組織全体として対応し、資金提供や裏取引は一切行いません。(●)一切行っていません。
  - ⑧ 万一「校費等の不正使用」への協力依頼があったとしても決して加担しません。もし職員が生協に隠れて加担しようとしたときには、就業規則に基づき厳しく制裁します。また、職員間の相互牽制、内部監査等により、決して加担しないしくみを整えます。(●)実施しています。不正使用の協力依頼も一切ありません。
- 2) 理事及び職員の職務執行に関わる情報の保存及び管理を適正に行います。
- ① 理事会は、法令の定めにもとづいて総代会の議案書(事業報告書、決算関係書類など)を作成し、総代への提供、事務所への備置き、保存等を法令に沿って行ないます。(●)実施しています。
  - ② 理事会は、総代会、理事会の議事録を法令、定款に則って作成し、適切に保存、管理します。理事会に出席した理事と監事は、理事会議事録の内容を確認してから、事務局で押印を代行するよう指示します。(●)押印が遅延することがあります。代理押印の制度を再整理します。
  - ③ 理事会は文書取扱及び管理についての規則を定め、代表理事、職員等はこれに基づき文書を適正に取り扱います。(●)規則を定めていますが、十分な実施ができていません。文書の整理、整頓を推進します。
  - ④ 理事会は「組合員への情報開示規則」を定め、組合員や債権者から情報の開示請求があったときは、法令、定款、規則にも

とづき速やかに開示の可否を判断し、開示請求に適切に対応します。(●)規則を設定し運用しています。現時点において開示請求事例はありません。

- ⑤ 理事及び職員は、自らが関与したさまざまな書類を漫然と持ち続けることなく、常に「いつまで保存すべきか、廃棄すべきか」を考え、保存する書類には、「いつまで保存し、いつになったら廃棄するか」を明示するよう努めます。(●)規則を定めていますが、十分できていません。引き続き、保管スペースの確保、文書の整理基準を明示して、指導を強めます。
- 3) 損失の危険の管理を行います。
- ① 理事会は、危機管理規則を制定するとともに、専務理事が「想定される代表的な危機と対応計画」を毎年作成し、理事会に報告します。(●)危機管理規則の制定が遅れています。学習を推進するとともに、BCP(事業継続計画)について検討をすすめます。行動計画を作成するとともに、具体的な演習にも取り組みます。
  - ② 特に、食中毒、個人情報事故を発生させると組合員にも大きな損害が及ぶことを自覚し、理事会で専務理事からこの危機への対処状況の報告を受け、確認します。(●)職員内での対応マニュアルの確認・共有を進めてきました。
- 4) 財務報告を適正に作成します。
- ① 理事会は、たとえ赤字であっても、適正な財務報告を作成することが理事会の責務と確認します。(●)毎理事会で報告しています。理事会で意思決定規則を設定し、管理を強めています。
  - ② 専務理事は、赤字隠し、不良資産隠しは法令違反で非常勤役員や組合員への背信行為だと自覚し、常に適正な財務報告をまとめ理事会に提案する姿勢を堅持します。(●)適正な財務報告を行っています。引き続き堅持します。
  - ③ 専務理事は、在庫、未収金、買掛金、預り金、出資金、固定資産などで実態と帳簿残高の差異が生じやすいことを踏まえ、部下と適切に分担して実態を帳簿残高に表現するよう努めます。また、職員に対し少なくとも毎年の決算の前(12-1月)に1回以上、「決算書に表現していない不良在庫、未収金等を正しく処理すること」を指

示します。(♣)適正な管理、報告に努めています。不良在庫については、年次の処理をすすめています。

- ④ 専務理事は、法令に基づきこれらの書類を作成し、理事会に提案します。(♣)決算報告に明記しています。
- 5) 理事及び職員の職務の執行が効率的に行われるようにします。
  - ① 理事及び職員は、状況を正確に把握して「ミッションとビジョン」を確認し、それに基づく中期的な行動計画に沿って事業、活動を行うことでより高い成果を上げられることを確信し、系統的、目的意識的に努力を重ねるよう努めます。(♣)ミッションとそれに基づくビジョンを制定しています。
  - ② 理事会は、理事会規則に基づき年 10 回程度開催し、必要な事項を文書または口頭で簡潔に報告し、理事会で議決すべき事項をもれなく決するほか、そのときどきの状況に応じた重要な事項について時間をとって協議し必要な意思決定を行います。(♣)21 年度の理事会の開催回数は 9 回実施を計画し、理事会開催回数は 9 回となりました。理事の出席人数不足により、協議・報告のみ行う回がありました。また、来校規制が行われる中、オンラインにて理事会を開催しました。理事会での議決事項は意思決定規則により明確にするほか、重要事項と判断したものは、議決しています。
  - ③ 専務理事は、職務の分担等が適切か、課題を実行するために適切な配置がされているか、十分な関心を払い、年度事業計画を検討する際にこれを文章化して理事会に報告します。(♣)コロナウイルスの影響により事業規模を縮小し、職務分担の見直しを適宜行ってきました。分掌のさらなる改善については余地を残しています。組合員や大学全体への貢献や生協の経営状況を考慮し、かつ職員の労働条件を確保し、より適切な配置を検討します。
  - ④ 専務理事及び各職員は、店舗等での現在の作業方法、分担、作業環境、各作業に要する時間、各日の投下労働時間等を

当然だと考えず、意思と目標を持って改善をすすめ、経営効率を高め続けます。(♣)稼働時間管理、分掌を含めより合理化を推進して、効率の改善、向上に努めてきました。引き続き改善に努めます。

- 6) 監事監査がいっそう有効に行われるための環境を整備します。
  - ① 理事会は、監事監査の環境整備が重要かつ必須であることを認識し、全国大学生協連等による監事監査学習会の開催案内を確実に監事全員に紹介します。(♣)2021 年度は実施がありませんでした。案内の都度、随時参加を呼びかけます。
  - ② 専務理事は、監事会に出席するなどして監事と定期的に協議し、相互認識を深めます。(♣)実施しています。
  - ③ 専務理事は、監事から求めがあったときは監事監査を補助する職員を任命し、その職員はその業務に関して理事会の指揮を離れ監事の命を受けて業務に当たります。(♣)該当する求めがありません。
  - ④ 代表理事、業務を分担して執行する理事等は、重大な法令、定款違反、重大な不正行為、生協に著しい損害を及ぼすおそれのある事実を発見したときは、直ちに理事だけでなく監事にも報告します。(♣)該当する事例がありません。万一あった場合は速やかに報告します。
  - ⑤ 専務理事は、行政庁、全国大学生協連、事業連合、公認会計士等から重要な指摘、指導、勧告等を受け取ったときは、理事とともに監事にも報告します。(♣)2022 年 2 月に三重県行政検査を受けました。それぞれの指摘事項等があった場合には報告しています。

## 第2号議案

### 2022年度活動方針および事業計画・予算決定の件

※ 新型コロナウイルスが依然猛威を振るう中、以前とは異なる環境・事業運営となる見込みです。しかしながら今年度は対面での講義を中心とする開講となり大学への登校人数が増加してきます。厳しい環境下ではありますが、以下の方針を踏まえ生協らしさにこだわり 適切な運営を進めていきます。

#### 基本方針：

「組合員と生協で働く人々の命と健康を守る」「大学・学生生活を支える」「事業経営の存続」の3つを柱として、事業を運営します。

- コロナウイルス感染拡大から組合員と職員を守る運営を進めます。
- 新しい生活様式への変化を敏感に捉え、事業を再構築します。
- 2022年度の損益収支均衡を目指し、経営回復に取り組みます。

#### 1. コロナ禍でダメージを受けた大学生活を取り戻し、組合員の生活向上のための事業活動をすすめます

- 多くの組合員の利用が集中する食堂・購買店内におけるコロナウイルス感染対策を徹底し、組合員と職員を守る運営を行います。
- コロナ禍による、オンライン授業の普及により、学修スタイルは大きく変化してきています。大学の教学方針の変化、新しい学修様式や大学生活、生協のご利用動向の変化を敏感に捉え、事業を構築します。
- 2018年度より始まったPC必携化の流れも踏まえ、より積極的な学修サポートのあり方を模索していきます。
  - ・ 必携化に対応するPCの選定・提案／電子書籍の普及／オンライン学修の実態やニーズを踏まえた新たな提案やサポート
- 大学で2022年度は対面での講義開講を基本とする方針が出されていることを踏まえ、生協の日々の食事利用(食堂・CVS)も対面講義を念頭に、対応を具体化します。
- 購買・食堂の営業規模については、キャンパス内の滞在人口の動向やコロナウイルス感染症の情勢等を踏まえながら、柔軟に判断していきます。
- 電子マネー(食堂パス・マイカペイ)によるスピード・非接触決済を推進します。
- 一人暮らしの変化を丁寧に掘り起こし(登校・食事・学修等)、種々の事業展開につなげていきます。また一人暮らし生の増減動向を注視し、物件オーナー・不動産業者・大学・行政等と協力・連携を図りながら、居住場所の選択の不安に 대응していきます。
- コロナウイルスの拡大により大きく利用が減少した旅行・サービス部門については、「手配業務から体験プロデュース業への転換」を志向し、取扱商品の整理を進めます。
- 第1食堂改築を成功させます。  
<2023年1月完成予定>

#### 2. 生協加入をはじめ「仲間づくり」の取り組みをすすめます。

- 生協加入を継続して推進します。学生、院生は100%近くが加入しています。教員は70%、職員は40%ほどです。加入キャンペーンを実施します。

- ・ 標準出資金... 学生・院生 24,000 円、教職員 10,000 円、非常勤職員 5,000 円、留学生 3,000 円
  - ・ 出資金は卒業時、大学を離れられる時に返還しています。
  - ・ 新入生の生協・共済加入の利便性を高めるため、インターネットからの加入システムを積極的に活用します。
- 学生、院生のみなさんに、学生総合共済、学生賠償責任保険を提案し、80%以上加入をめざします。
  - 共済については、2022 年度からの新制度・コープ共済との共同引受を念頭に、地域生協との連携を強化していきます。
  - コロナ禍におけるオンラインでのコミュニケーションの機会増加の情勢を踏まえた 組合員どうしの「つながり」づくりを模索します。
  - 生協の運営に積極的に関わる生協学生委員や生協総代を増やしていきます。
- 「総代ミーティング」を定期的開催し、学生の意見を集め、交流し、実現していきます。組合員の意見が反映する生協づくりを推進します。また、総代ミーティングへの生協職員の参加も強めていきます。
  - 「ひとこえカード」など、組合員が参加する取り組みを強めます。オンラインからも生協へ声を届ける仕組みを整えます。
  - 学内を横断して活動できるのが生協の強みです。生協学生委員会、生協PC講座、環境ISO学生委員会、体育会応援団、ピアサポーター学生委員会、編入生サークル、留学生などと協力して活動をすすめていきます。
  - 三重大学生協も加盟する三重県生活協同組合連合会(三重県生協連)は、引き続き 22 年度も、三重大学人文学部の特殊講義の枠組みで「協同組合論」を実施し、協同組合を学ぶ場をつくっていきます。  
三重大学生生活協同組合は、本講義のホスト生協として積極的に運営に参加していきます。

### 3. 学生・院生のキャリア支援、就職支援をすすめます。

- 学生のキャリア支援、インターンシップ活動、就職活動の支援をすすめていきます。生協独自、大学との共催企画のほか、大学の就職支援の各種企画にも協力していきます。
  - 「公務員試験対策講座」、「就職対策講座」等を実施します。また、基本能力とされている「英語力」、「パソコン力」などに焦点をあてた養成講座に取り組みます。
  - 「スタートアップ講座」の開催など、入学時から卒業まで、継続してキャリア支援をおこないま
- す。
  - 組合員どうしが伝え、学びあえるような生協らしい取り組みをつくっていきます。
  - 各種資格取得の支援をすすめます。
  - 運転免許をキャリアの一つと位置づけて早期取得を提案していきます。
  - 三重大学におけるインターンシップの取り組み強化の方針を踏まえ、生協でのインターンシップ受入れ準備を進めていきます。

### 4. MyicaPay (マイカペイ) ・食堂パスのご利用により、生協の利便性を高めます。

- MyicaPay のレジ精算率を増やし、組合員利便を増進します。
  - ・ レジ精算がスピーディになり、混雑緩和効果があります。
  - ・ ポイント還元機会を増やし、利用者の経済メリットも推進します。
- ・ 店舗スタッフとの接触機会が減るため、コロナウイルス感染リスクの低減にもつながります。
- ・ なお、MyicaPay は、生協へのご利用金額を予めお預かりするので、経営の効率も向上します。



- 食堂定期券「食堂パス」の利用を促進します。食育の取り組みとして、食事をとる率の向上に努めます。2022年度4月より第1食堂での朝食夕食営業を再開します。
- チャージを促進して、MyicaPayの利用率を向上させます。
- 「紛失時等利用停止機能」... 届け出後最長2時間で利用停止ができます。
- 「マイページサービス」... 利用履歴、三郡点数法表示を確認できます。
- 「三郡点数法表示(食堂レジ)」... 食育、健康管理とあわせての提案をすすめます。

## 5. 健康で安全に過ごすための提案と、たすけあいの共済活動をすすめます。

- 病気や事故の実態を分析し、事故と病気を減らすための提案活動を強めます。
- 「共済ボード」活動を積極的におこない、たすけあいの制度「共済」を広めていきます。給付事例の紹介や、病気、事故の予防提案、健康で安全に過ごせるための情報を発信します。
- 三重大学では自転車を利用する組合員が多く、自転車事故も多く見受けられます。自転車事故防止の啓蒙活動を行います。
- 欠食や偏食、栄養バランスの偏りなど不規則な生活が原因の体調不良や病気があります。
- コロナウイルスの情勢を見ながら、健康を考える企画(「健康フェスタ」等)の実施を検討します。
- 生協加入とともに、たすけあいを制度化した「学生総合共済」を普及します。また、「学生賠償責任保険」、「学生賠償責任保険 一人暮らし特約付き」の加入を促進します。給付の案内も積極的におこないます。また、「就学費用保障保険」、「学生生活110番」、「勉強援助制度」の寄付金についても広報を強め、加入や活動を促進します。

## 6. 環境を守り、資源の循環を促進する活動をすすめます。

- 大学や、環境ISO学生委員会と連携して活動をすすめます。翠陵会館と第1食堂の間にあるエコステーションの活用を推進します。現在、古紙の回収、トナーカートリッジ回収、インクカートリッジ回収、牛乳パック回収、ペットボトルキャップの回収をおこなっています。
- 手作り弁当の容器(リ・リパック)のリサイクルをすすめます。回収率5割を当面目指します。
- 国産材の利用を促進するため、国産間伐材割り箸を導入しています。間伐材を利用することで未利用資源の活用になります。
- 缶、ペットの回収につとめ、リサイクル工場に搬入します。リサイクルを促進します。
- 「トナーの日」を定期的開催して、トナーのリサイクルを促進します。
- 生協職員による翠陵会館、第1食堂、第2食堂の周辺掃除を継続します。快適なキャンパスをめざします。
- レジ袋ゼロ運動を継続します。
- プラスチック削減のため購買でのスプーン・フォーク・ストローなど環境配慮資材への転換を進めます。
- 職員の日常作業を見直し、より環境に配慮した業務へ改善を進めます。
- 生協がとりくむ環境対策のとりくみを、組合員へ積極的に発信していきます。

## 7. 社会を考え合う取り組みをすすめます。

- SDGs(持続可能な開発目標)をふまえ、取り組んでいきます。
  - ・ SDGsが掲げる17の目標のうち、特に以下
- について意識しながら日常の活動・事業に取り組み、発信していきます。
- 「目標4:質の高い教育をみんなに」... 様々

- な啓蒙活動やキャリア支援事業など
- ・「目標 12: つくる責任、つかう責任」... エシカル消費の推進・食品ロスの削減など
- ・「目標 17: パートナーシップで目標を達成しよう」... 大学や地域との連携・協力
- ・グリーン購入法・FSC・MSC・Rainforest Alliance・RSPO・エコマーク商品・フェアトレードなど、社会的課題に対応する諸制度や商品について学習し、業務での利用や商品としての展開を進めていきます。
- 政治や社会の動きについて、考える活動や情

報提供をおこないます。組合員が意見を交流し、知り、知らせ、考え、話し合う活動をおこないます。

- 平和を考え、行動する企画をすすめます。
- 三重県生活協同組合連合会、三友会(三重県原爆被災者の会)との共同企画を計画します。
- 引き続きユニセフ募金に取り組みます。
- コロナ禍で営業規模を縮小し提供を一時停止している Table For Two 活動の再開を検討します。

## 8. 自然災害、防災について考え、行動します。

- 防災の対策、防災の学習会など取り組みをすすめます。東海、東南海地震を想定した、発災時の対応をまとめます。
- 生協の事業継続について研究をすすめます。
- 防災、危機管理マニュアルを策定します。
- 三重県生協連と連携し、有事の際に備え、定期的に MCA 無線の通信訓練を行います。

## 9. 学内教職員のニーズに積極的に応えていきます

- コロナ禍の中、オンライン授業の実施をはじめ教職員の教育・研究生活も大きく変化しています。
- 学内研究室への外販活動を強めます。研究室や事務所への訪問活動を強め、With コロナの中での教職員のニーズを積極的に捉えていきます。
- 教職員の利用者懇談会の開催を模索します。教職員の意見を集約し、今後の活動や加入促進につなげます。

## 10. 大学全体の取り組みに協力し、貢献します。

- 「With コロナ」の大学生活を敏感に捉え、学生支援、サポートを強めます。学生の勉学支援、日常生活支援、自己開発、キャリア支援、体験の支援など、多面的にサポート(商品、サービスの提供)します。
- 三重大学において、学生のインターンシップを積極的に推進する方針を踏まえ、生協でもインターンシップの受入れを準備します。
- 2018 年度よりスタートしたノート PC 必携化の動向に応じて、総合情報処理センターをはじめ大学と協力しながら、大学教育の変化に対応し、適切な商品・サービスの模索や提案を進めます。
- 「大学生活説明会」、オープンキャンパス、入試のサポート、就活やキャリア支援等について、大学とともに活動をすすめます。
- 社会連携事業は、学内部局と連携してすすめます。成果物としての大学ブランド品の開発支援や、ブランド品の提供窓口となるよう努めます。
- 環境 ISO 学生委員会と協力して、エコステーションの運営、リ・リパック回収を強化します。

## 11. 理事会の執行力を強め、要望を実現し、経営の改善をすすめていきます。

- 組合員、大学全体への貢献は生協の大切な使命です。可能なサービスの提供、利用者への還元に取り組みます。組合員の要望を実現して利用結集を進めます。
- 2021 年度はコロナウイルス感染拡大の影響を引き続き受け、厳しい経営結果となりました。今年度もこの状況がしばらく続くことが予想されます。2022 年度三重大学は、大部分の講義が対面で行われる方針です。学生が大学に戻ってくるのが予測されます。2022 年度末の収支均衡を目指し、経営改善に取り組みます。
- 費用(人件費、物件費)については、効果性、必要度を精査しながら執行していきます。
- 生協業務の適性執行を確保するための体制(内部統制)について、2015 年 10 月に定めました。生協に適用されるルールや諸規則等を整備し、内部統制の運用を開始しています。毎年、到達と課題を明確にすることにより、運営課題の強化をすすめていきます。

## 12. 県内、全国の協同組合と連帯して、活動をすすめます。

- 地域生協や医療福祉生協などの県内生協との連帯活動をすすめます。大学生協、地域生協、医療福祉生協、学校生協、全労災が加盟する、三重県生活協同組合連合会とも連携して活動をすすめます。
- 2022 年度からの新制度・コープ共済との共同引受がスタートしました。地域生協との連携を強化していきます。
- 東海地区の大学生協の連帯組織「大学生協連合会東海ブロック」に結集して、活動交流、組合員交流をすすめます。
- 全国の大学生協とも積極的に活動交流していきます。
- 三重短期大学生生活協同組合、三重県立看護大学生生活協同組合との連帯活動も推進します。組合員、学生委員の交流をすすめます。
- 引き続き、三重短大生協、三重県立看大生協の運営を支援していきます。

## 13. 2022 年度予算について

- ※ 「With コロナ」の環境下において事業経営を回復させるには 3 年程度が必要と考えます「2022 年度には収支均衡を目指す」ことを基調に、三重大生協の組織と事業を維持できる経営構造改革を執行していきます。
- ※ 今年度は学生が大学キャンパスに戻ってくるのが予測されますが、コロナ以前のような環境には戻らないことを前提に予算執行していきます。
- ※ 今年度は新しいレジシステムの導入が行われる計画となっており、三重大生協ではシステム投資におよそ 1,000 万円の投資を計画しています。
- ※ 全体では 2022 年度年間マイナス 18,898 千円(税引前当期剰余)の赤字予算となります。



2022年度 予算(単位:千円)

科目	科目名	翠陵店	第2購買 書籍店	住まい 幹旋	第1食堂	第2食堂	ばせお	本部	2022年度 予算合計	2021年度 実績
811	供給高	741,088	210,917	0	70,058	48,965	12,420	0	1,083,448	999,193
991	供給剰余金	120,876	33,481	0	35,746	31,329	6,384	0	227,816	188,078
831	*共同運営費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
832	*会員事業受託収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会員業務受託収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
821	利用事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
718	利用事業原価	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用剰余金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
822	共済受託手数料収入	0	0	0	0	0	0	9,580	9,580	9,193
823	教育文化事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
824	供給事業手数料収入	311	0	0	0	0	0	0	311	411
825	不動産賃貸収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
826	その他の手数料収入	18,633	0	22,830	0	0	0	17,250	58,713	62,550
	その他の事業収入計	18,944	0	22,830	0	0	0	26,830	68,604	72,154
	事業総剰余金	139,820	33,481	22,830	35,746	31,329	6,384	26,830	296,420	260,232
721	役員報酬	0	0	0	0	0	0	11,173	11,173	7,618
722	職員給与	0	0	0	0	0	0	57,755	57,755	56,558
723	定時職員給与	32,439	7,157	6,150	17,223	13,081	3,568	6,765	86,383	64,148
724	退職給付費用	0	0	0	0	0	0	3,000	3,000	3,411
725	法定福利費	591	30	343	120	348	24	12,935	14,391	13,293
726	厚生費	44	0	25	480	50	0	1,380	1,979	1,163
729	役員退職引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	91
727	賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	3,500	3,500	2,870
728	派遣人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費合計	33,074	7,187	6,518	17,823	13,479	3,592	96,508	178,181	149,154
742	教育文化費	0	0	0	0	0	0	1,180	1,180	20
738	広報費	6,120	294	1,050	178	34	0	2,740	10,416	6,734
731	消耗品費	3,411	913	1,325	1,460	2,000	740	12,460	22,309	13,677
736	物流費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
737	車輛運搬費	4,776	273	1,040	46	17	0	585	6,737	6,559
743	貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	100	100	430
744	ポイント引当金繰入	0	0	0	0	0	0	800	800	626
732	施設維持管理費	937	112	73	1,212	1,143	269	5,635	9,381	6,804
733	減価償却費	0	0	0	0	0	0	7,775	7,775	4,146
739	賃借料	628	28	92	202	37	48	0	1,035	901
734	水道光熱費	0	0	0	0	0	0	9,850	9,850	6,722
751	保険料	0	0	0	0	0	0	615	615	544
749	委託料	3,737	1,032	936	1,067	733	431	15,635	23,571	15,187
748	研修採用費	35	4	30	50	4	0	1,790	1,913	331
741	調査研究費	21	0	20	40	0	0	420	501	464
740	会議費	145	48	110	60	12	0	1,305	1,680	155
746	諸会費	4	0	0	60	0	0	3,630	3,694	3,961
745	渉外費	0	0	0	0	0	0	125	125	14
747	租税公課	71	0	43	0	0	0	360	474	498
735	通信交通費	1,863	577	430	48	48	48	2,300	5,314	4,940
752	雑費	4,342	0	10	0	0	0	215	4,567	3,280
753	事業連合委託費	0	0	0	0	0	0	25,040	25,040	25,334
	物件費合計	26,090	3,281	5,159	4,423	4,028	1,536	92,560	137,077	101,325
	事業経費合計	59,164	10,468	11,677	22,246	17,507	5,128	189,068	315,258	250,479
	事業剰余金	80,656	23,013	11,153	13,500	13,822	1,256	-162,238	-18,838	9,753
861	受取利息	0	0	0	0	0	0	120	120	
862	受取配当金	0	0	0	0	0	0	50	50	
863	雑収入	0	0	0	0	0	0	10	10	
	事業外収益	0	0	0	0	0	0	180	180	5,755
761	支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	
762	雑損失	0	0	0	0	0	0	640	640	
	事業外費用	0	0	0	0	0	0	640	640	1,254
	経常剰余金	80,656	23,013	11,153	13,500	13,822	1,256	-162,698	-19,298	14,253
871	固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	
873	償却債権回収益	0	0	0	0	0	0	0	0	
875	補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	
876	その他特別利益	0	0	0	0	0	0	2,000	2,000	
	特別利益	0	0	0	0	0	0	2,000	2,000	3,469
771	役員退職給与	0	0	0	0	0	0	0	0	
772	臨時損失	0	0	0	0	0	0	0	0	
773	固定資産臨時償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	
774	固定資産売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	
775	固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	1,600	1,600	
777	債務保証引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	
779	減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	
778	その他特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	
	特別損失	0	0	0	0	0	0	1,600	1,600	245
	税引前当期剰余金	80,656	23,013	11,153	13,500	13,822	1,256	-162,298	-18,898	17,477
781	法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0	303
782	過年度法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
783	法人税等調整額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期剰余金	80,656	23,013	11,153	13,500	13,822	1,256	-162,298	-18,898	17,174

## 第3号議案

### 2022-2024 年度 中期計画策定の件

三重大生協では、2013 年度通常総代会にて、ミッション(生協が何のためにあるのか=三重大生協の使命)、ビジョン(将来構想=具体的な理想の姿)を策定し、生協の事業活動の柱としてきました。

また、これまでにミッション・ビジョンの具体化として 2014-2016 年度中期計画、2018-2020 年度中期計画を策定し、2019 年度まで様々な活動を進めてきました。しかしながら 2020 年度新型コロナウイルスの拡大により、店舗・食堂を中心とし来店を前提とした事業は大きなダメージを受けました。

2020 年 1 月から現在に至る 2 年超の期間に、三重大学における学内環境は大きく変化しました。

コロナ禍以前の環境に戻ることはなく、新しい社会環境に対応した事業・組織運営が求められています

三重大生協は大学・社会・そして組合員の変化を捉え、2024 年度までの中期的な時間軸で何を目指し(ミッション・ビジョン)、何をすべきか(アクションプラン)を本中期事業計画にてまとめ、執行期間内に実現をいたします。

#### 2. 中期計画の執行期間について

※ 中計執行期間を 2022 年～2024 年とします

・ 2022 年度総代会において本中期計画を議決します

・ 事業連合東海地区第9期中期計画と同期させます

※ 2023 年 2 月(予定)より新第 1 食堂がオープンします

・ その1年後を見据え、三重大生協はどのように組合員・大学・社会に貢献することを、この中期計画内で描きます

#### 1. 三重大生協のミッション・ビジョン(2013 年度 通常総会にて策定)

##### (1) ミッション

- ① 組合員同士の“つながり”、“たすけあい”、“協力”を大切にして、豊かで充実した大学生活をつくれます。
- ② 三重大学とともに、学びと成長にあふれた「魅力ある大学」をつくれます。
- ③ 大学の枠をこえて、社会の一員として人にやさしい平和な社会をつくれます。

##### (2) ビジョン

###### ① 商品・メニュー・サービス

- ・ より良い“商品”、“メニュー”、“サービス”を提供し、スタッフのおもてなしを大切にして、毎日立ち寄りたくなる、笑顔あふれる生協をつくれます。

###### ② つながり・交流

- ・ 組合員どうし・学内団体間のつながりや、仲間づくりの大切さを実感できるような交流の場を創出し、キャンパスライフを楽しめるよう支援します。

###### ③ 学び・成長・教育・研究

- ・ 組合員の学び・成長・教育・研究に積極的にに関わり、その成果を組合員どうしで共有したり、

継承できるように支援します。

- ④ 共につくる・情報受発信
  - ・ “組合員を大切にする運営”、“健全な経営”を確立します。
- ⑤ 社会(貢献)・人づくり
  - ・ 学内外の団体と協力し、社会情勢、環境問題、地域社会などに積極的に関わることで、平和な社会をつくることを目指します。
- ⑥ 安心・安全
  - ・ 食生活提案・健康安全提案を通じて、組合員が心身ともに健康で元気に過ごせるように支援します。
- ⑦ 組合員の輪を広げる
  - ・ 組合員が生協の良さを実感することで、生協の輪を広げていきます。

## 2. 2024 ビジョン

---

ビジョンは、生協が組合員にとって、三重大学にとって「頼りになる存在」「なくてはならない存在」であり続けるために、2024 年までに「何を実現したいか」「どのように学生を支援できるか」「どのような貢献ができる生協でありたいか」「どのような経営状態でありたいのか」を目標として表したものです。ビジョンと現在の活動内容・レベルを対比しながらふりかえる原点となります。

今回は特に、コロナ禍により大きなダメージを受けた組合員の大学生生活を取り戻し、組合員の生活向上を行っていく活動を進めていきます。またそのために不可欠な事業経営の再建、組合員組織と生協職員組織の再構築、また現在の組合員の生活実態、大学からの期待に応える活動を中心にしたものを 2024 ビジョンとします。

### 1. コロナ禍で傷ついた組合員の大学生生活をとりもどす活動を推進します

～三重大生協は、「組合員のくらしの向上」を実現できる経営構造・組織構造を確立します～

- ① 多様化する組合員・大学からの要望に応えることのできる健全な経営構造を確立します
- ② 経常剰余率 1%以上を確保できる損益構造を確立します
- ③ 生協加入率 100%と学生総合共済加入率 80%を実現します

### 2. 組合員の声や生活実態、大学からの期待を踏まえた計画を実行します

- ① 学生一人ひとりの学業継続やキャンパスライフに貢献し、相互扶助と協同の精神を育む事業を展開します
- ② 大学における福利厚生と学生支援の担い手として最も頼りになるパートナーとしての地位を築きます
- ③ 勉学・研究支援、大学業務支援のプロフェッショナルとしてなくてはならない存在としての評価を確立します
- ④ 「入学前から卒業後までつながり続ける」「キャンパス外の生活を支える」事業活動を展開します

### 3. 組織の再構築 ～私たちは、組合員組織の拡大と生協職員組織の再構築を意識的に進めます～

- ① 学生と生協職員の協同・成長の場面への参加機会を広げ続け、協同組合を支える人材を育成します
- ② 職員一人ひとりがやりがいと展望を持って働くことのできる組織文化の醸成と処遇改善を図ります

4. 地域・社会との連携 ～私たちは、地域社会や地域生協との協同を通じ持続可能な社会づくりに貢献します

- ◎ 地域生協、医療生協、自治体、企業、NPO 等と連携した事業・諸活動を通じ、組合員と生協職員が社会とつながり、地域社会の活性化と持続可能な社会づくりに貢献します

### 3. 2022-2024 中期計画の重点方針・課題

前述の 2024 ビジョンの実現のために注力していくポイントを、重点方針・課題として設定します。

#### 1) コロナ禍でダメージを受けた組合員の大学生活をとりもどす活動を推進します

～三重大生協は、「組合員のくらしの向上」を実現できる経営構造・組織構造を確立します～

- 新学期事業(生協・共済・保険加入、住まい斡旋、パソコン、各種講座、教科書教材)の計画 100%執行を行います
- 食事業(食堂事業・CVS 事業)食堂パス中心に利用拡大します
- 学びと成長事業(オリジナル公務員講座・PC 講座・英語学習講座・TOEIC・DECS・語学留学)を強化します。また資格取得(自動車免許取得、各種資格)をサポートします。
- 研究室への定期的訪問や情報発信強化により、校費利用のさらなる利用促進をおこないます
- 卒業生対策を強化します。就活支援、卒業関連(レンタルハカマ、卒論製本、印鑑、記念品)
- 翠陵店・第 2 購買書籍店の品揃え・サービスを改善・強化します。
- 業務新システム投資による運営コスト削減と効率的な業務運営に努めます
- 大学生協 EC サイト利用促進します(EC サイト改善も引き続きすすめます)

#### 2) 組合員の声や生活実態、大学からの期待を踏まえた計画を実行します

- 食事業を強化します。2022 年度第 1 食堂での朝昼夕の食事提供を再開します。
- 学び環境改善を大学とともにすすめます
- 電子教科書採用をすすめます
- PC 必携化となっている三重大学の学び環境発展に寄与します。
- 食生活を支える業態改善をすすめます。テイクアウト、クックチルによる朝食夕食の高品質な食事提供をすすめます
- 第 1 食堂改築を成功させます

#### 3) 組織の再構築

～私たちは、コロナ禍でダメージを受けた組合員組織の拡大と生協職員組織の再構築を意識的に進めます～

- 新第 1 食堂建設完了後、新食堂を新しい共創空間として活用し、学生・教職員組合員がつどい交流できる場の創造を行います。

2023 年春完成新食堂営業開始によるキャンパスコミュニティの場を創造します

新クラブサークル棟(旧第 1 食堂)エリア再開発に伴う人流拡大対応強化(D1、SB1)

新食堂と新クラブサークル棟の相乗効果を大いに活用し、三重大学のキャンパスライフ向上に努めます。

- 組合員の参加と協同による生協運営をより強化するためのとりくみをすすめます

総代会を 2019 年度以前のような実参加での総代会を実施します。

総代ミーティングの再構築をおこないます。学生組合員の多くの声を運営に反映していきます。

声カードの活動強化をおこないます。(WEB 声カードの仕組み)

学生・院生・教職員向けの利用者懇談会開催します

- 職員のムリ・ムダ・ムラをなくし働き甲斐や、やる気をもって働き続けることができる環境整備します。  
東海地区の大学生協全体で、キャリアパス制度を運用します。キャリアパス制度では、人財育成を最大の目的とし、東海地区の全役職員の個々の成長を大学生協(組織)の成長に結び付けていくことをめざします  
またキャリアパス制度の運用にともない、職員の労働環境においても、残業時間の削減や諸制度の整備などの環境改善を進めていきます。

- 大学生協共済連の残余財産分配を最大限有効に活用します。  
2022 年度予定されているコープ共済連への共済事業譲渡による残余財産分配資産を 2022 年度第 1 食堂改築のために活用します。(厨房機器購入等)  
事業運営のための新システム(NR-G)投資に活用します。(2022 年度)  
ばせお業態変更にむけて 2022 年度検討開始します。(2023 年度予定)

4) 地域・社会との連携 ~私たちは、地域社会や地域生協との協同を通じ持続可能な社会づくりに貢献します

- 大学ブランド発信に積極的に参加します。
- 大学や地域との協力関係を進め、学生の学びを支える商品やサービスの提案につなげていきます。
- 全国、東海地区 大学生協との連携を強めます。
- 三重県内の生協、協同組合との連携を強めます。
- 全国の取り組みを学び、活動を改善していきます。

以上



## 第 4 号議案 定款一部改正の件

以下のとおり、定款を改正いたします。

### 1. 改正の内容

	改正案	現行条文
①	<p>(自由脱退)</p> <p>第 10 条 組合員は、事業年度の末日の 9 0 日前までにこの組合に予告し、当該事業年度の終わりにおいて脱退することができる。</p> <p><u>2 この組合は、組合員が第 9 条に定める住所の変更届を 2 年間行わなかったときは、脱退の予告があったものとみなし、理事会において脱退処理を行い、当該事業年度の終わりにおいて当該組合員は脱退するものとする。</u></p> <p><u>3 前項の規定により脱退の予告があったものとみなそうとするときは、この組合は事前に組合員に対する年一回以上の所在確認を定期的に行うとともに、公告等による住所の変更届出の催告をしなければならない。</u></p> <p><u>4 第 2 項の規定により理事会が脱退処理を行ったときは、その結果について総代会に報告するものとする。</u></p>	<p>(自由脱退)</p> <p>第 10 条 組合員は、事業年度の末日の 9 0 日前までにこの組合に予告し、当該事業年度の終わりにおいて脱退することができる。</p>
②	<p>(事業の品目等)</p> <p>第 6 9 条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 第 3 条第 4 号に規定する生活の共済を図る事業は、<u>次に掲げるものとする。</u></p> <p><u>(1) 日本コープ共済生活協同組合連合会が行う学生総合共済事業、短期生命共済事業及び短期火災共済事業の業務の一部を受託する受託共済事業</u></p>	<p>事業の品目等)</p> <p>第 6 9 条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 第 3 条第 4 号に規定する生活の共済を図る事業は、<u>次に掲げるものとする。</u></p> <p><u>(1) 全国大学生協共済生活協同組合連合会が行う短期生命共済事業及び短期火災共済事業の業務の一部を受託する受託共済事業</u></p> <p><u>(2) 日本コープ共済生活協同組合連合会が行う学生総合共済事業の業務の一部を受託する受託共済事業</u></p>
③	<p>(総代会の議決事項)</p> <p>第 5 7 条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 総代会においては、<u>第 5 4 条第 4 項</u>の規定により、あらかじめ通知した事項についてのみ議決をするものとする。ただし、この定款により総代会の議決事項とされているものを除く事項であって軽微かつ緊急を要するものについては、この限りでない。</p>	<p>(総代会の議決事項)</p> <p>第 5 7 条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 総代会においては、<u>第 5 2 条第 3 項</u>の規定により、あらかじめ通知した事項についてのみ議決をするものとする。ただし、この定款により総代会の議決事項とされているものを除く事項であって軽微かつ緊急を要するものについては、この限りでない。</p>

④	<p>(議決権及び選挙権の書面又は代理人による行使)</p> <p>第63条 総代は、<u>第54条</u>第4項の規定によりあらかじめ通知のあった事項について、書面又は代理人をもって議決権又は選挙権を行うことができる。ただし、組合員でなければ代理人となることができない。</p> <p>2 (略)</p> <p>3 第1項の規定により書面をもって議決権又は選挙権を行う者は、<u>第54条</u>第4項の規定によりあらかじめ通知のあった事項について、その賛否又は選挙しようとする役員の氏名を書面に明示して、<u>第67条</u>又は第19条第1項の規定による規約の定めるところにより、この組合に提出しなければならない。</p> <p>4 (略)</p> <p>5 (略)</p>	<p>(議決権及び選挙権の書面又は代理人による行使)</p> <p>第63条 総代は、<u>第52条</u>第4項の規定によりあらかじめ通知のあった事項について、書面又は代理人をもって議決権又は選挙権を行うことができる。ただし、組合員でなければ代理人となることができない。</p> <p>2 (略)</p> <p>3 第1項の規定により書面をもって議決権又は選挙権を行う者は、<u>第52条</u>第4項の規定によりあらかじめ通知のあった事項について、その賛否又は選挙しようとする役員の氏名を書面に明示して、<u>第65条</u>又は第19条第1項の規定による規約の定めるところにより、この組合に提出しなければならない。</p> <p>4 (略)</p> <p>5 (略)</p>
⑤	<p>(利用分量に応ずる割戻し)</p> <p>第76条 組合事業の利用分量に応ずる剰余金の割戻し(以下「利用分量割戻し」という。)は、毎事業年度の剰余金について、繰越欠損金をてん補し、<u>第73条</u>第1項の規定による法定準備金として積み立てる金額及び<u>第74条</u>第1項の規定による教育事業等繰越金として繰り越す金額(以下「法定準備金等の金額」という。)を控除した後に、なお残余があるときに行うことができる。</p> <p>2～11 (略)</p>	<p>(利用分量に応ずる割戻し)</p> <p>第76条 組合事業の利用分量に応ずる剰余金の割戻し(以下「利用分量割戻し」という。)は、毎事業年度の剰余金について、繰越欠損金をてん補し、<u>第71条</u>第1項の規定による法定準備金として積み立てる金額及び<u>第72条</u>第1項の規定による教育事業等繰越金として繰り越す金額(以下「法定準備金等の金額」という。)を控除した後に、なお残余があるときに行うことができる。</p> <p>2～11 (略)</p>
⑥	<p>(その他の剰余金処分)</p> <p>第79条 この組合は、剰余金について、<u>第75条</u>の規定により組合員への割戻しを行った後になお残余があるときは、その残余を任意に積み立て又は翌事業年度に繰り越すものとする。</p>	<p>(その他の剰余金処分)</p> <p>第79条 この組合は、剰余金について、<u>第73条</u>の規定により組合員への割戻しを行った後になお残余があるときは、その残余を任意に積み立て又は翌事業年度に繰り越すものとする。</p>
	<p>附則</p> <p>(施行期日)</p> <p>1 (略)</p> <p>1 定款第69条は、三重県知事の認可を受けた日(2022年○月○日)から施行し、2022年10月1日から適用する。</p> <p>1 定款第10条、第57条、第63条、第73条、第79条は、三重県知事の認可を受けた日(2022年○月○日)から改正施行する</p>	<p>附則</p> <p>(施行期日)</p> <p>1 (略)</p>

## 2. 改正の理由

- ⑥ 定款第10条は、住所変更届を長期にわたり行わず、所在不明となった組合員に対して、除名を行うことが困難であるため、第2項、第3項、第4項の規定を設け、「みなし自由脱退」の手続きを行え

るようになります。

◎ 定款第69条（事業の品目）に掲げてきた共済事業は、これまで全国大学生協共済生活協同組合連合会と日本コープ共済生活協同組合連合会が共同引受で行ってきたものですが、全国大学生協共済生活協同組合連合会がこの共済事業を2022年10月1日より日本コープ共済生活協同組合連合会に全部譲渡し、合わせて共済契約者を日本コープ共済生活協同組合連合会に包括移転します。そのため、事業の受託元を変更するため定款の改正を行います。

なお、全国大学生協共済生活協同組合連合会は2022年9月30日をもって解散する方針です。

- ◎ 定款第57条第3項 条項番号間違いの訂正を行います。
- ◎ 定款第63条第1項、第3項 条項番号間違いの訂正を行います。
- ◎ 定款第76条第1項 条項番号間違いの訂正を行います。
- ◎ 定款第79条第1項 条項番号間違いの訂正を行います。

## 第5号議案 日本コープ共済生活協同組合連合会への加入の件

1. 日本コープ共済生活協同組合連合会に加入します。

2. 加入の理由

全国大学生協共済生活協同組合連合会が共済事業を2022年10月1日より日本コープ共済生活協同組合連合会に全部譲渡し、合わせて共済契約者を日本コープ共済生活協同組合連合会に包括移転します。そのため、日本コープ共済生活協同組合連合会に加入し、共済事業の取り扱いを継続します。

## 第6号議案 役員報酬決定の件

役員の間年報酬について、以下の総額の範囲で理事会が定める役員報酬規則に基づいて支給すること、及び、役員の間報酬額・支給方法などについては、理事に関しては理事会に、監事に関しては監事の協議に委ねることを決定します。

- ・ 理事(25名)の報酬総額を1,300万円以内とします。非常勤理事は無報酬です。
- ・ 監事(4名)の報酬 無報酬です。
- ・ この金額は前年度の総代会で議決した金額と同額です。

## 第 7 号議案 議案決議効力発生の件

各号の決議の本旨に反しない範囲での字句の修正を理事会に一任します。

## 役員選出の件

- 2022 年度生協の日常的な運営を担う役員(理事、監事)を選出します。定款 18 条、19 条 に基づいて役員  
の選挙をおこないます。
- 理事 25 名、監事 4 名を選出します。任期は 1 年です。(2022 年の総代会当日～2023 年の総代会当日  
まで)
- 候補者は、別紙「2022 年度役員候補者名簿」をご覧ください。  
(2022 年度 役員立候補名簿 左より順に、候補者番号、氏名、所属となります。)
- 候補者が定数内の場合は、役員選挙規約第 12 条、第 13 条の規定に基づき、候補者全員が当選となり  
ます。

# 2022年度 三重大学生生活協同組合 役員名簿

理事						
氏名	学部、学内団体等 所属 等					
1	あおき 青木 雅生	教員	人文学部	教授(法律経済学科 現代経済研究)		
2	たましろ 玉城 政和	教員	教育学部	教授(数学教育)		
3	たけうち 竹内 佐智恵	教員	医学系研究科・医学部	教授(看護学専攻 実践看護学領域 成人看護学)		
4	かねこ 金子 聡	教員	工学研究科・工学部	教授(分子素材工学専攻 生物機能工学 分析環境化学)		
5	さかもと 坂本 竜彦	教員	生物資源学研究科・ 生物資源学部	教授(共生環境学専攻 地球システム学 地球システム進化学)		
6	やがみ 八神 ひさのり 寿徳	教員	地域イノベーション学研究科	准教授(地域イノベーション学専攻 地域新創造ユニット・工学イノベーションユニット)		
7	まつおか 松岡 ちづこ 知津子	教員	地域人材教育開発機構	准教授(グローバル人材教育開発部門・国際交流センター)		
8	つるはら 鶴原 きよし 清志	大学理事	-	理事(教育担当)・副学長		
9	にしかわ 西川 きらら	学部生	人文学部	文化学科	3年	ピアサポーター学生委員会
10	なかもえ 中前 純奈 <sup>じゅんな</sup>	学部生	教育学部	特別支援教育コース	3年	ACS学生委員会
11	いわもと 岩本 りさ 梨沙	学部生	教育学部	社会教育コース	3年	体育会 応援団
12	ふじわら 藤原 ききょう 輝馨	学部生	教育学部	数学教育コース	3年	体育会 応援団
13	やまぐち 山口 かずのり 和紀	学部生	生物資源学部	生物圏生命科学科	2年	環境ISO学生委員会
14	たまの 玉野 ともひろ 智大	学部生	工学部	総合工学科・電気電子工学コース	4年	PC講座 iMUPS
15	たかす 高須 いつき 一樹	学部生	工学部	電気電子工学科	2年	PC講座 iMUPS
16	はやざわ 早澤 じゅんき 准輝	学部生	工学部	電気電子学工学科	3年	生協 学生委員会
17	やまだ 山田 さきと 咲人	学部生	人文学部	法律経済学科	2年	生協 学生委員会
18	やまなか 山中 みずき 瑞貴	学部生	教育学部	特別支援教育コース	2年	生協 学生委員会
19	たなか 田中 はな 花菜	学部生	人文学部	法律経済学科	2年	生協 学生委員会
20	やぶうち 藪内 ゆうすけ 友佑	学部生	生物資源学部	共生環境学科	2年	生協 学生委員会
21	やまだ 山田 るい 瑠	学部生	人文学部	法律経済学科	2年	生協 学生委員会
22	とくなが 徳永 ことは 琴羽	学部生	人文学部	法律経済学科	2年	生協 学生委員会
23	たけうち 竹内 しんや 信也	生協職員	常勤	員外(現 事業連合東海地区 事業推進部 食生活グループ 副部長)		
24	しば 芝 こうじ 幸治	生協職員	非常勤	員外(現 コープリビングサービス東海 取締役)		
25	むらた 村田 てつ 哲	生協職員	常勤	三重大生協職員		
監事						
氏名	学部、学内団体等 所属					
1	なじま 名島 としき 利喜	教員	人文学部	教授(法律経済学科 法制研究)		
2	ばく 朴 けいしゅく 恵淑	教員	地域イノベーション学研究科	特任教授		
3	おおすが 大須賀 つばさ 翼	学部生	工学部	電気電子学工学科	3年	
4	あかつか 赤塚 かな 可奈	学部生	教育学部	英語教育コース	3年	



[www.univcoop-tokai.jp/mucoop/](http://www.univcoop-tokai.jp/mucoop/)

発行 三重大学生生活協同組合

514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 番地 三重大学内

TEL 059-231-1103 FAX 059-231-3852